

## 教 職 課 程

教職課程は、教育職員免許法に定められている規定により、教育職員免許状が取得できるよう設置している課程です。今日の教育現場の多様化に伴い多くの問題が発生している現状を考え、学校教育及び教職のあり方等について深く学び、教員としての専門知識等を修得することを目的としています。

履修者は、自分の進路をよく考え、単なる資格取得のみに終らず、教職に対して更なる自覚をもって履修してください。

### 令和5年度 の入学生

学部	学 科	主 免 許		副 免 許
文	神 道	中 学 校 一 種 宗 教		(中学校一種社会)
		高 等 学 校 一 種 宗 教		(高等学校一種地理歴史、高等学校一種公民)
	国 文	中 学 校 一 種 国 語		(中学校一種社会、中学校一種英語、小学校一種又は小学校二種)
		高 等 学 校 一 種 国 語	高 等 学 校 一 種 書 道	(高等学校一種地理歴史、高等学校一種公民、高等学校一種英語)
	国 史	中 学 校 一 種 社 会		(中学校一種国語、小学校一種又は小学校二種)
		高 等 学 校 一 種 地 理 歴 史	高 等 学 校 一 種 公 民	(高等学校一種国語)
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	英語コミュニケーションコース 英語教育コース	中 学 校 一 種 英 語	(中学校一種国語、中学校一種社会、小学校一種又は小学校二種)
			高 等 学 校 一 種 英 語	(高等学校一種国語、高等学校一種地理歴史、高等学校一種公民)
		心 理 学 コ ー ス 情 報 コ ー ス	中 学 校 一 種 国 語	中 学 校 一 種 英 語 (小学校一種又は小学校二種)
			中 学 校 一 種 社 会	
高 等 学 校 一 種 国 語	高 等 学 校 一 種 地 理 歴 史	高 等 学 校 一 種 公 民	高 等 学 校 一 種 英 語	

上記免許のうち、副免許教科は、主免許教科を取得することを条件に取得できますが、当該教科関連科目が配当年次では履修できない場合があります。さらに、( )内の強化については、カリキュラムの都合上、4年間では取得が困難な場合があります。  
コミュニケーション学科の英語以外の主免許教科は自学科の学修が優先されるため、時間割当の都合上4年間での取得を保障するものではありません。

学部	学 科	コ ー ス	主 免 許	副 免 許	
教 育	教 育	初 等 教 育 コ ー ス	小学校一種	以下の①～③のうち一つを選択 ①中学校・高等学校一種 (国語) ② 〃 (社会・地理歴史) ③ 〃 (英語)	中学校・高等学校のセット
		幼 児 教 育 コ ー ス	幼稚園一種 保育士資格(※1)	小学校一種	
	育	保 健 体 育 コ ー ス	中学校・高等学校一種 (保健体育)	小学校一種	
		数 理 教 育 コ ー ス	中学校・高等学校一種 (数学)	小学校一種	

主免許を取得することを条件に副免許を取得することが可能です。  
(※1) 詳細については「保育士資格」のページをご覧ください。

平成31～  
令和4年度  
の入学生

カリキュラム

(教職課程 H31～R4)

学部	学 科	主 免 許		副 免 許
文	神 道	中 学 校 一 種 宗 教		(中学校一種社会)
		高 等 学 校 一 種 宗 教		(高等学校一種地理歴史、高等学校一種公民)
	国 文	中 学 校 一 種 国 語		(中学校一種社会、中学校一種英語、小学校一種又は小学校二種)
		高 等 学 校 一 種 国 語		(高等学校一種地理歴史、高等学校一種公民、高等学校一種英語)
		高 等 学 校 一 種 書 道		(高等学校一種英語)
	国 史	中 学 校 一 種 社 会		(中学校一種国語、小学校一種又は小学校二種)
		高 等 学 校 一 種 地 理 歴 史		(高等学校一種国語)
		高 等 学 校 一 種 公 民		
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	英語コミュニケーションコース	中 学 校 一 種 英 語	(中学校一種国語、中学校一種社会、小学校一種又は小学校二種)
			高 等 学 校 一 種 英 語	(高等学校一種国語、高等学校一種地理歴史、高等学校一種公民)
心理コース 地域情報コース		中 学 校 一 種 国 語	中 学 校 一 種 英 語 (小学校一種又は小学校二種)	
		中 学 校 一 種 社 会		
心理コース 地域情報コース	高 等 学 校 一 種 国 語	高 等 学 校 一 種 英 語		
	高 等 学 校 一 種 地 理 歴 史			
高 等 学 校 一 種 公 民	高 等 学 校 一 種 英 語			
現代日本社会	現代日本社会	(高等学校一種公民) 他学科履修にて取得することになります。		

上記免許のうち、副免許教科は、主免許教科を取得することを条件に取得できますが、当該教科関連科目が配当年次では履修できない場合があります。さらに、( )内の教科については、カリキュラムの都合上、4年間では取得が困難な場合があります。

コミュニケーション学科の英語以外の主免許教科は自学科の学修が優先されるため、時間割等の都合上4年間での取得を保証するものではありません。

学部	学 科	コ ー ス	主 免 許	副 免 許	
教 育	教 育	学 校 教 育 コ ー ス	小学校一種	以下の①～③のうち一つを選択 ①中学校・高等学校一種 (国語) ② 〃 (社会・地理歴史) ③ 〃 (英語)	中学校・高等学校のセット
		幼 児 教 育 コ ー ス	幼稚園一種	小学校一種	
			保育士資格(※1)		
		ス ポ ー ツ 健 康 科 学 コ ー ス	中学校・高等学校一種 (保健体育)	小学校一種	
特 別 支 援 教 育 コ ー ス	小学校一種	特別支援学校一種			
	中学校・高等学校一種 (保健体育)				

主免許を取得することを条件に副免許を取得することが可能です。  
(※1) 詳細については「保育士資格」のページをご覧ください。

単 位

教員免許状を取得するためには、卒業に必要な単位を修得するほか、「教育の基礎的理解に関する科目」「大学が独自に設定する科目」、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の必要な単位及び、小学校・中学校・高等学校については「教科及び教科の指導法に関する科目」、幼稚園については「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の必要な単位を修得しなければなりません。

介護等体験実習
---------

介護等体験実習の義務
------------

義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性に鑑み、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者は、障がい者、高齢者に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わなければなりません。文学部生、教育学部生で小学校一種・二種または中学校一種免許状を取得する学生は「介護等体験実習」（1単位）を履修登録してください。

時期及び期間…文学部生は3年次以降、教育学部生は2年次以降の8月～12月に指定された7日間

実施施設…特別支援学校（2日）、社会福祉施設（5日）

実習費…12,000円

介護等体験実習の免除
------------

下記の1又は2に該当する者は介護等体験実習が免除されます。

該当する場合は、教職支援担当まで申し出てください。

1. 身体障害者のうち、身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級である者
2. 次の免許・資格を受けている者  
社会福祉士、介護福祉士、保健師、助産師、看護師、准看護師  
理学療法士、作業療法士、義肢装具士、盲学校・聾学校または養護学校の教員免許の取得者

成績評価
------

成績評価は実施年度の年度末に、実習日誌、課題レポート、事前・事後指導の出席をあわせて総合評価します。

ただし、履修登録がされていない場合は、実習を行っても成績の評価は出ませんので必ず登録してください。

履修資格
------

**実習に行くためには、下記の1に該当し、且つ2～7の条件を満たしている者**とします。

1. 小学校一種・二種、中学校一種の教員免許の取得を希望する者
2. 実習へ行く前年度の所定の期日までに、予約申込書を提出している者
3. 実習へ行く前年度の所定の期日までに、「麻しん抗体検査報告書」の提出が完了している者（P.230参照）
4. 予備指導・事前指導を受けた者（正当な理由（試験規定第10条）による欠席者は除く）
5. 介護等体験実習の履修登録がされている者
6. 実習費が期限内に納入されている者
7. 本学宛の「実習に関する誓約書」の内容を理解し、期限内に提出の上、遵守できる者

予備指導  
事前指導  
事後指導

予備指導・事前指導を受けない者は介護等体験実習を行うことができません。  
予備指導は、介護等体験実習を履修するための準備のための指導です。介護等体験実習の概要、履修の方法、実習に必要な申込書の配布並びに記入方法・提出期限、その他必要な手続きなどについて説明を行います。

事前指導は、予備指導を踏まえて、実習に臨む心構えや、介護等体験実習の基本的な重要事項についての指導がなされます。

介護等体験実習が終わると、事後指導を行い、実習の反省・指導がなされます。

これらの指導の履修については単位に含まれますので、欠席した場合は介護等体験実習の評価を出すことができません。本学においては、特にその出欠を重視し、正当な理由（試験規定第10条）がなく無断で欠席及び5分以上の遅刻をした者については、介護等体験実習の履修を放棄したものとみなします。

実習年次・  
期間・時期

内容	学部・学科	文学部	教育学部
		神・文・史・コミ学科	教育学科
予約申込み	1年次（新2年次） 3月下旬 説明・書類配布 2年次 5月末 申込期限	1年次 4月下旬 説明・申込書配布 5月末 申込期限	1年次 4月下旬 説明・書類配布 9月末 報告書提出期限 ※1
麻しん抗体検査	1年次（新2年次） 3月下旬 説明・書類配布 2年次 9月末 報告書提出期限 ※1	1年次 4月下旬 説明・書類配布 9月末 報告書提出期限 ※1	1年次（新2年次） 3月下旬 説明・書類配布
予備指導	2年次（新3年次） 3月下旬 説明・書類配布	2年次 4月初旬 申込書提出	2年次 8月～12月に2日間 ※3
本申込み	3年次 4月初旬 申込書提出	3年次 5月初旬～6月 ※2	3年次 8月～12月に5日間 ※3
事前指導	3年次 5月初旬～6月 ※2	2年次 5月初旬～6月 ※2	2年次 1月中旬 ※2
実習 学校（2日間）	3年次 8月～12月に2日間 ※3	2年次 5月初旬～6月 ※2	2年次 1月中旬 ※2
実習 施設（5日間）	3年次 8月～12月に5日間 ※3	2年次 5月初旬～6月 ※2	2年次 1月中旬 ※2
事後指導	3年次 1月中旬 ※2	2年次 5月初旬～6月 ※2	2年次 1月中旬 ※2

※1：抗体検査（EIA法-IgG）の結果、抗体の値が「4.0」未満の場合、ワクチン接種歴を確認の上、ワクチン接種を行い、再度抗体検査を受ける必要があります（P.230参照）。その場合の報告書の提出は、実習前年度の3月末を限度とし、それまでに提出が完了していなければ実習に行くことができません。

※2：事前指導・事後指導の日程等は、授業時間割を参照。

※3：具体的な実習の日程等は、事前指導で告知します。

**【重要】** 実習に関する事柄についてSNSやインターネットなどに投稿・掲載・発信することを一切禁止します。実習に関する物品や成果物、情報などを掲載することで、トラブルが起こりうるため、絶対に行わないこと。

その事実を確認した場合、実習の単位を不認定とします。

学生本人以外（家族等）が行っても同様となるため、実習に関する成果物や情報など適正な管理に努めること。

## 教育実習

目的	<p>教育実習は、教科及び教職に関する科目の1科目として履修するものであって、本学の責任において学外の実習校（園）と緊密な連絡のもとに実施するものであり、下記事項を目的として行うものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎各実習校（園）における教育を実際に体験し、将来教員として必要な資質を総合的・有機的に養う。</li> <li>◎学習指導・生活指導・学級経営・学校（園）運営等の原理と方法を理解し、それぞれに必要な技能と態度を体得する。</li> <li>◎学校・家庭及び地域社会との関連を理解し、それぞれに应ずる能力・態度を養う。</li> </ul>
成績評価	<p>成績評価は、実施年度の年度末に、実習校（園）の評価と、実習日誌、学習指導案等実習中の資料、事前・事後指導の出席をあわせて総合評価します。</p> <p>ただし、「教育実習」と「事前事後指導」の2科目をセットで履修登録がされていない場合は、実習を行っても成績の評価は出ませんので必ず登録してください。</p> <p>また、いずれかの科目が不合格となった場合、両科目とも原則不合格とします。（セットで履修のため）</p>
履修資格	<p>下記ア～エの実習に行くためには、実習へ行く前年度末のGPAが2.0以上で、1～9の条件を満たしている者とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 将来確実に教育職員になる意志がある者</li> <li>2. 心身ともに健康かつ実習施設の活動を妨げる恐れのない者</li> <li>3. 予備指導、事前指導を履修した者（正当な理由（試験規程第10条）による欠席は除く）</li> <li>4. 教育実習、事前事後指導の履修登録がされている者</li> <li>5. 実習費が期限内に納入されている者</li> <li>6. 次頁に定める各実習へ行く前年度までに次の単位が修得済みであり、それらの科目の履修状況をもとに教職課程・保育士資格部会で認められた者       <ul style="list-style-type: none"> <li>（ただし、中・高（英語）で教育実習を行なう場合は、日本英語検定協会が実施する英検において、2級以上、もしくはTOEIC500点以上取得済みの者であることを原則とする。）</li> </ul> </li> <li>7. 実習へ行く前年度の所定の期日までに、「麻しん抗体検査報告書」の提出が完了している者（P.230参照）</li> <li>8. 2月に実施する「筆順指導」を受講済みである者（1度限りで可）</li> <li>9. 本学宛の「実習に関する誓約書」の内容を理解し、期限内に提出の上、遵守できる者</li> </ol> <p style="text-align: center;">ア、高等学校・中学校で教育実習をする場合</p> <p style="text-align: center;">教職論、教育学概論、教育・学校心理学、該当する教科教育法（4単位以上）</p>

## 実習教科

## イ、特別支援学校で教育実習をする場合

特別支援教育総論、知的障害児の心理・生理・病理、肢体不自由児の心理・生理・病理、病弱児の心理・生理・病理、障害児療育論、障害児心理学、病弱児教育方法、特別支援教育授業論、障害児指導法Ⅰ、教育実習（小学校もしくは教育実習Ⅰ）5単位または教育実習Ⅱ3単位

## ウ、小学校で教育実習をする場合

・教職論、教育学概論、教育・学校心理学、教育方法学、教科教育法（6単位以上）

## エ、幼稚園で教育実習をする場合

・教職論、教育学概論、教育・学校心理学、教育方法学、保育内容の指導法（6単位以上）

	国語	地理歴史	公民	宗教	英語	保健体育	数学
高等学校	現代の国語 言語文化 倫理国語 文学国語 国語表現 古典探求(書道)	地理総合 地理探求 歴史総合 日本史探求 世界史探求	公民 倫理 政治・経済	宗教	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	保健 体育	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 数学B 数学活用
中学校	国語	社会		宗教	英語	保健体育	数学
小学校	全科						
幼稚園	保育内容						



実施年次・  
期間・時期令和5年度  
の入学生

	文学部	教育学部 教育学科			
	神・文・史 コミ学科	初等教育 コース	幼児教育 コース	保健体育 コース	数理教育 コース
高等学校	4年次6月 (10日間)			3又は4年次6月 (15日間)	3年次6月 (10日間)
中学校	4年次6月 (15日間)※	4年次6月 (10日間)※		3又は4年次6月 (15日間)※	3年次6月 (15日間)
小学校	4年次9月 (15日間)※	3年次9月 (20日間)※	4年次9月 (10日間)	3又は4年次9月 (10日間)※	4年次9月 (10日間)
幼稚園			3年次9月 (20日間)		

※必ず隣接した教育実習（小学校⇔中学校）の単位を修得すること。

	現代日本社会学部 現代日本社会学科
	高等学校

注意) 実習時期については、実習校の都合により変更する場合があります。  
中学校・高等学校の両免許を取得する場合は、中学校で実習を行います。

予備指導  
事前指導  
事後指導

予備指導・事前指導を履修しない者は、教育実習を行うことができません。これらの指導は、履修の方法、実習依頼の手続及び実習に臨む心構え、また人権問題等教育実習の基本的な重要事項についての指導がなされます。また教育実習を終えると事後指導を行い、実習の反省・指導がなされます。その履修については、単位に含まれますので、欠席した場合は教育実習の評価を出すことができません。本学においては、特にその出欠を重視し、正当な理由（試験規程第10条P.231）がなく無断で欠席及び5分以上の遅刻をした者については、教育実習の履修を放棄したものとみなします。

実施年次・  
期間・時期

平成31～  
令和4年度  
の入学生

	文学部	教育学部 教育学科		
	神・文・史 コミ学科	学校教育コース	幼児教育コース	スポーツ健康 科学コース
高等学校	4年次6月 (10日間)			3又は4年次6月 (15日間)
中学校	4年次6月 (15日間)※	4年次6月 (10日間)※		3又は4年次6月 (15日間)※
小学校	4年次9月 (10日間)※	3年次9月 (20日間)※	4年次9月 (10日間)	3又は4年次9月 (10日間)※
幼稚園			3年次9月 (20日間)	

※必ず隣接した教育実習（小学校⇔中学校）の単位を修得すること。

	教育学部	現代日本社会学部
	特別支援教育コース	現代日本学科
高等学校	3年次6月 (15日間)	4年次6月 (10日間)
中学校	3年次6月 (15日間)	
小学校	3年次9月 (20日間)	
幼稚園		
特別支援 学校	4年次9月 (10日間)	

注意) 実習時期については、実習校の都合により変更する場合があります。  
中学校・高等学校の両免許を取得する場合は、中学校で実習を行います。

予備指導  
事前指導  
事後指導

予備指導・事前指導を履修しない者は、教育実習を行うことができません。これらの指導は、履修の方法、実習依頼の手續及び実習に臨む心構え、また人権問題等教育実習の基本的な重要事項についての指導がなされます。また教育実習を終えると事後指導を行い、実習の反省・指導がなされます。その履修については、単位に含まれますので、欠席した場合は教育実習の評価を出すことができません。本学においては、特にその出欠を重視し、正当な理由（試験規程第10条P.231）がなく無断で欠席及び5分以上の遅刻をした者については、教育実習の履修を放棄したものとみなします。



高等学校  
中学校  
小学校  
特別支援学校  
履修手続

(※1)	(※2)	時期	内 容	備 考
二年次	一年次	3月	予備指導（成績通知書配付時）	関係書類受取
三 年 次	二 年 次	4月	教職支援担当に関係書類提出	実習生調書他
		4~6月	実習校へ実習依頼	実習校は出身校を原則とするので、各自実習校を訪問の上、依頼状等必要書類を添えて実習校に依頼する。依頼方法が一般と異なる学校や教育委員会があるので注意する。具体的には予備指導で説明。
		10月までに	実習校から教職支援担当へ承諾書（内諾書）返送	
		年度末までに	承諾書の内容を確認	教職支援担当へ返送されたものを各自で確認
		2月	健康診断	大学の定期健康診断を必ず受診
		3月	予備指導（成績通知書配付時）	関係書類受取
四 年 次	三 年 次	4月	関係書類を教職支援担当に提出	実習申請書・最終調査・誓約書他
			承諾書の内容を点検	内容に変更がないか実習校に確認し教職支援担当に報告（変更の有無にかかわらず報告）
			教育実習事前事後指導及び教育実習の履修登録	未登録の場合は実習ができない。
			大学の事前指導	全体、人権教育、校種別、教科別指導
			実習校の事前指導	指定された日時に授業があれば、授業担当教員に欠席届を提出する。
			実習費納入	期日を厳守し証明書発行機にて納入
		6~9月	教育実習実施	原則として6~9月であるが、実習校の都合で変更される場合がある。 ☆実習によって欠席する場合は、事前に授業担当教員に申し出て、指導を受ける。
			実習校の事後指導	指定された日時に授業があれば、授業担当教員に欠席届を提出する。
			大学の事後指導	教科別指導
		7・10月	実習日誌（出勤表含）及び指導案を教職支援担当に提出	実習後、2週間以内に返送して頂くよう実習校に依頼する。
			年度末	成績評価

(※1) 文学部、教育学部教育学科学校教育/初等教育コース（高等学校・中学校）、教育学部教育学科幼児教育コース・スポーツ健康科学/保健体育・数理教育コース（小学校）、教育学部教育学科特別支援教育コース（特別支援学校）、現代日本社会学部対象。

(※2) 教育学部教育学科学校教育/初等教育コース（小学校）、教育学部教育学科スポーツ健康科学/保健体育・数理教育コース（高等学校・中学校）、教育学部教育学科特別支援教育コース（小・中・高等学校）対象。

☆介護等体験実習については、予備指導で配布する日程表を確認してください。

**【重要】** 実習に関する事柄についてSNSやインターネットなどに投稿・掲載・発信することを一切禁止します。実習に関する物品や成果物、情報などを掲載することで、トラブルが起こりうるため、絶対に行わないこと。その事実を確認した場合、実習の単位を不認定とします。学生本人以外（家族等）が行っても同様となるため、実習に関する成果物や情報など適正な管理に努めること。

幼稚園  
履修手続

(※1) 二年次	(※2) 一年次	時期	内 容	備 考
三 年 次	二 年 次	3月	予備指導(成績通知書配付時)	関係書類受取
		4月	実習園(指定園)へ依頼	大学から指定実習園へ実習依頼を行う。
			教職支援担当に関係書類提出	実習生調書他
		4～6月	実習園へ実習依頼(希望園)	大学の指定する幼稚園以外を希望する場合、各実習園を訪問の上、依頼状等必要書類を添えて依頼する。
		10月までに	実習園から教職支援担当へ承諾書(内諾書)返送(希望園)	
		年度末までに	全実習生実習園決定	掲示にて連絡する。
			承諾書の内容を確認(希望園)	教職支援担当へ返送されたものを各自で確認
		2月	健康診断	大学の定期健康診断を必ず受診
		3月	予備指導(成績通知書配付時)	関係書類受取
		四 年 次	三 年 次	4～7月
事前指導	実習日誌等配布。実習生個人票・誓約書等教職支援担当に提出。			
実習費納入	期日を厳守し証明書発行機にて納入			
実習園との打ち合わせ	事前指導終了後、直ちに全員揃って実習園を訪問し、挨拶と同時に事前指導を受ける。			
9月	幼稚園実習実施			原則として9月であるが、実習園の都合により変更される場合がある。 ☆実習によって欠席する場合は、事前に授業担当教員に申し出て、指導を受ける。
	実習日誌(出勤表含)及び指導案を教職支援担当に提出			実習後、2週間以内に返送して頂くよう実習園に依頼する。
10月～	事後指導			実習日誌返却等
年度末	成績評価			

\* 指定園…大学が指定する私立の幼稚園。四日市市(4)、鈴鹿市(2)、津市(2)、名張市(1)、伊勢市(10)に所在する19園を指す。

\* 希望園…指定園以外の幼稚園で、出身幼稚園、就職先として考えている幼稚園など自分が実習を希望する幼稚園を指す。

(※1) 教育学部教育学科学校教育コース対象。

(※2) 教育学部教育学科幼児教育コース対象。

## 実 習 費

大学に納入する実習費と実習校へ納入する実習費があります。金額や納入方法は下記に示しましたので、確認してください。期限内に納入がない場合は、実習を放棄したものとみなします。

〈大学に支払う分〉

校 種	金 額	納入年次	納 入 日	納入方法
高等学校 中学校 小学校 特別支援学校	8,000 円	3・4年次 (履修手続きの 時期を参照して ください。)	4月中旬 納入期日は事前指 導で連絡します。	証明書発行機で支 払い、申込書を各自 保管してください。
幼稚園			5月下旬	

〈実習校に支払う分〉

実習校の事前指導時に必ず実習費の金額を確認し、必要である場合、各自で実習校に納入してください。

## 〔注 意〕

## 1) 実習生としての自覚

従来受け入れ校より教職に関する科目の学習不足という批判を受けています。教育職員を志す者として自覚をもち、そういうことのないように努力をしてもらわなければなりません。

なお、実習前に下記について、十分に準備学習してください。

- ① 本学で作成し、各自に配布している「教育実習の手引」を熟読する。
- ② 実習校（園）で使用している教科書に目を通す。
- ③ 指導案についての調査研究をする。
- ④ 生徒指導の手引きを読んでおく。

## 2) 健康管理

多数の生徒または児童・園児に接するため、健康診断は必ず受け、自分の健康状態を把握しておくことが必要です。なお集団生活にふさわしくない病気などは、あらかじめ治療し全治しておかなければなりません。

## 3) 守秘義務

実習により知り得た児童、生徒、教職員のプライバシーに関する情報については、決して外部へ漏らしてはいけません。

**〔重要〕** 実習に関する事柄についてSNSやインターネットなどに投稿・掲載・発信することを一切禁止します。実習に関する物品や成果物、情報などを掲載することで、トラブルが起こりうるため、絶対に行わないこと。その事実を確認した場合、実習の単位を不認定とします。学生本人以外（家族等）が行っても同様となるため、実習に関する成果物や情報など適正な管理に努めること。

## 4) 実習の取りやめ

実習校(園)決定後に実習を取りやめることは、単に個人的な問題ではなく、実習校(園)及び教育委員会に多大な迷惑をかけることになると同時に、大学の信用がなくなり、以後実習を受け入れてもらえなくなります。そのため、後輩の実習に支障をきたすことにもなりますので充分注意してください。一人の不注意や、怠慢が全体の迷惑になることを考えられない者は、実習を認めることができません。万一実習ができなくなった場合は、速やかに教職支援担当に届け出てください。ただし病気その他やむを得ない理由以外は「教育実習」の取り消しは認めません。

なお、教育実習期間中に企業等の採用試験が重複した場合でも、原則、教育実習を優先することとします。

## 免許状の申請

教員免許状は、居住地の都道府県教育委員会が授与するものであり、本学では三重県教育委員会へ一括申請する方法をとり、免許状の交付を受けています。

ただし、一括申請するのは当年度卒業生のみです。

4年次の秋学期(11月予定)に説明会を開催し、下記の必要書類を配付しますので、申請手数料と共に、教職支援担当まで提出してください。

期限までに提出しない場合は、一括申請ができません。決められた時期に提出するよう心掛けてください。

## ◇提出書類

1. 教育職員免許状授与等申請書(一括申請用)
2. 履歴書
3. 宣誓書
4. 収入証紙納付書
5. 介護等体験証明書
6. その他必要と認められる書類

◇教育職員免許状申請手数料(具体的金額は、説明会で連絡する)

※説明会において、書類の記入方法、提出方法等の詳細について指導しますので、該当者は必ず出席してください。連絡のない欠席は、免許状の申請を放棄したものと見なします。

## 免許状の交付

学位記授与式当日

## 教員免許状取得のための早見表

取得を希望する免許種類について、下表で示す各ページを参照して、履修すること。

学部	免許の種類	令和5年度入学生参照ページ				平成31~令和4年度入学生参照ページ							
		教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	第66条の6に定める科目				
文	宗教 中学校 一種	P.142	P.142	P.144	P.159	P.160	P.160	P.162	P.175				
	宗教 高等学校 一種			P.145				P.163					
	国語 中学校 一種			P.146				P.164					
	国語 高等学校 一種			P.147				P.165					
	書道 高等学校 一種			P.148				P.166					
	社会 中学校 一種			P.149				P.167					
	地理歴史 高等学校 一種			P.150				P.168					
	公民 高等学校 一種			P.151				P.169					
	英語 中学校 一種			P.178				P.178		P.179	P.178	P.178	P.179
	英語 高等学校 一種									P.180			P.180
	小学校 一種	P.143	P.143	P.145	P.159	P.161	P.161	P.163	P.175				
	小学校 二種			P.146				P.164					
国語 中学校 一種	P.148			P.166									
国語 高等学校 一種	P.149			P.167									
社会 中学校 一種	P.152			-									
地理歴史 高等学校 一種	P.153			-									
数学 中学校 一種	P.151			P.169									
数学 高等学校 一種	P.154			P.170									
英語 中学校 一種				P.155				P.155		P.156	P.171	P.171	P.172
英語 高等学校 一種													
保健体育 中学校 一種	P.155	P.155	P.156	P.171	P.171	P.172							
保健体育 高等学校 一種													
現日	公民 高等学校 一種	P.142	P.142	P.150	P.159	P.160	P.160	P.168	P.175				

学部	免許の種類	令和5年度入学生参照ページ			平成31~令和4年度入学生参照ページ		
		教育の基礎的理解に関する科目等	領域及び保育内容の指導法に関する科目	第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	領域及び保育内容の指導法に関する科目	第66条の6に定める科目
教育	幼稚園 一種	P.157	P.158	P.159	P.173	P.174	P.175

学部	免許の種類	平成31~令和4年度入学生参照ページ	
		特別支援教育に関する科目	
教育	特別支援学校 一種	P.176	

## 「中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状」取得要件

- 条件 文学部生又は教育学部生又は現代日本社会学部生であって卒業単位を修得していること。  
 教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目を修得していること。  
 規則第66条の6に定める科目を修得していること。  
 中学校教諭一種免許状取得については、大学が独自に設定する科目を修得すること。

### ○教育の基礎的理解に関する科目等〈文学部・現代日本社会学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	服部	1	講義	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教職論	服部	3	講義	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の社会と制度	市田	6	講義	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	渡邊(賢)・芳賀	3	講義	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎(中等)	大杉	4	講義	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論(中等)	井上(兼)	5	講義	2		
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳の理論及び指導法(中等)	服部	5	講義	2		中一種免のみ 文学部のみ
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法(中等)	駒田	7	講義	1		
	特別活動の指導法		特別活動の指導法(中等)	勢力(よ)	5	講義	1		
	教育の方法及び技術		中等教育方法論(ICTの活用を含む)	勢力(稔)	5	講義	2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		-	-					「中等教育方法論(ICTの活用を含む)」を履修
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論及び方法	服部	6	講義	2		「生徒・進路指導の理論及び方法」を履修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(中等)	渡邊(賢)	5	講義	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		-	-					
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習事前事後指導(中等)	教職科目担当教員	7-8	演習	1	隔週「教育実習事前事後指導(中等)」については「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」と同時履修すること。	
教育実習Ⅰ	教職科目担当教員		7-8	実習		4	中免取得者は「教育実習Ⅰ」を高免取得者は「教育実習Ⅱ」を中高取得者は「教育実習Ⅰ」を履修すること。		
教育実習Ⅱ	教職科目担当教員		7-8	実習		2			
教職実践演習	2	教職実践演習(中等)	平石・服部・多田 豊住・渡邊(毅)	8	演習	2			
合計	中27単位以上 高23単位以上	合計	合計				中29単位以上 高25単位以上		

- (注) ○「道徳の理論及び指導法(中等)」を欠く場合は、中学校免許が取得できない。  
 ○中学校・高等学校の免許と小学校の免許を併せて取得する場合は、中学校・高等学校免許の「教職実践演習(中等)」の単位を「教職実践演習(初等)」の単位に充当することができるので、「教職実践演習(初等)」を併せて履修する必要はない。  
 (中学校・高等学校免許を主免許とする場合は、「教職実践演習(中等)」のみ履修登録すること。)

### ○大学が独自に設定する科目〈文学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考
科目区分	科目	単位					必修	選択	
大学が独自に設定する科目	中4単位以上 高12単位以上	介護等体験実習	多田・平石 大杉・井上(兼) 高橋(摩)・藤井(恭)	5-6	実習	1		隔週 中一種免のみ	

※施行規則に定める単位数より不足している単位については「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」より流用。



## ○教育の基礎的理解に関する科目等〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単 位					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教 育 学 概 論	野々垣	1	講義	2		小一種免許単位充当
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教 職 論	野々垣	2	講義	2		小一種免許単位充当
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教 育 の 社 会 と 制 度	市田	6	講義	2		小一種免許単位充当
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教 育 ・ 学 校 心 理 学	渡 邊 (賢)	2	講義	2		小一種免許単位充当
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特 別 支 援 教 育 の 基 礎	大 山 本 (智)	3	講義	2		小一種免許単位充当
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教 育 課 程 論	井 上 (兼)	5・6	講義	2		小一種免許単位充当
	道徳の理論及び指導法		中10 高8	道 徳 の 理 論 及 び 指 導 法	渡 邊 (毅)	1	講義	2	
総合的な学習の時間の指導法	総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法	駒 田		7	講義	1		小一種免許単位充当	
特別活動の指導法	特 別 活 動 の 指 導 法	勢 力 (稔)		6	講義	1		小一種免許単位充当	
教育の方法及び技術	教 育 方 法 論 (ICTの活用を含む)	勢 力 (稔)		4	講義	2		小一種免許単位充当	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	-	-						「教育方法論(ICTの活用を含む)」(R4以降入学生) 「教育方法学」(R3以前入学生)を履修	
生徒指導の理論及び方法	生 徒 ・ 進 路 指 導 の 理 論 及 び 方 法	渡 邊 (賢)		6	講義	2		小一種免許単位充当	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教 育 相 談	吉 田 (直)		5・6	講義	2		小一種免許単位充当	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	-	-						「生徒・進路指導の理論及び方法」を履修	
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習事前事後指導(中等)	教職科目担当教員	5-6	演習	1		隔週「教育実習事前事後指導(中等)」については「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」と同時履修すること。
			教 育 実 習 Ⅰ	教職科目担当教員	5-6	実習	4		中免取得者は「教育実習Ⅰ」を高免取得者は「教育実習Ⅱ」を中高取得者は「教育実習Ⅰ」を履修すること。
			教 育 実 習 Ⅱ	教職科目担当教員	5-6	実習	2		「教育実習Ⅰ」を履修すること。
	教職実践演習	2	教 職 実 践 演 習 (中 等)	加 藤 (純) 野々垣・上野	8	演習	2		「教職実践演習(初等)」の単位充当
合 計	中27単位以上 高23単位以上	合 計				中29単位以上 高25単位以上			

- (注) ○「道徳の理論及び指導法」を欠く場合は、中学校免許が取得できない。  
 ○中学校・高等学校の免許と小学校の免許を併せて取得する場合は、中学校・高等学校免許の「教職実践演習(中等)」の単位を「教職実践演習(初等)」の単位に充当することができるので、「教職実践演習(初等)」を併せて履修する必要はない。  
 (中学校・高等学校免許を主免許とする場合は、「教職実践演習(中等)」のみ履修登録すること。)  
 ○学校教育コースの学生について、副免許である中学校実習は、小学校実習の2単位を流用するため、「教育実習Ⅰ(中学校)副免許2単位」を履修することで、「教育実習Ⅰ4単位」を修得できる。

## ○大学が独自に設定する科目〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考
科目区分	単 位	必修					選択		
大学が独自に設定する科目	中4単位以上 高12単位以上	介 護 等 体 験 実 習	多 田 ・ 平 石 大杉・井上(兼) 高橋(摩)・藤井(恭)	3-4	実習	1		隔週 中一種免のみ	

※施行規則に定める単位数より不足している単位については「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」より流用。

## ○教科及び教科の指導法に関する科目

## 宗教（中学校一種・高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
カリキュラム (教免取得要件 宗教 中・高一種 R5) 教科及び教科の指導法に関する専門的事項 に関する科目	宗 教 学	宗 教 学 概 論 I	板井・中山(郁)	3	講義	2		集中
		宗 教 学 概 論 II	板井・中山(郁)	4	講義	2		
		仏 教 概 説	久 間	3	講義		2	
		神 道 概 論 I	高 野	3	講義	2		
		神 道 概 論 II	高 野	4	講義	2		
		宗 教 学 講 義 I	板 井	3	講義	2		
		宗 教 学 講 義 II	中 山 (郁)	4	講義	2		
		神 道 文 献	高 野	1	講義		2	
		神 道 教 化 概 論 I	板 井	5	講義		2	
		神 道 教 化 概 論 II	板 井	6	講義		2	
	宗 教 史	世 界 宗 教 史 I	宮 坂	5	講義	2		集中
		世 界 宗 教 史 II	宮 坂	6	講義	2		集中
		日 本 宗 教 史	多 田	4	講義		2	
		神 道 史 I	加 茂	3	講義		2	
		神 道 史 II	加 茂	4	講義		2	
		近 代 神 道 史	高 野	3	講義		2	
		神 宮 史 I	塩 川	3	講義		2	
		神 宮 史 II	谷 戸	4	講義		2	
	「教理学、哲学」	神 道 神 学 I	松 本	7	講義	2		
		神 道 神 学 II	松 本	8	講義	2		
		祭 祀 概 論 I	加 茂	3	講義		2	
		祭 祀 概 論 II	加 茂	4	講義		2	
		日 本 思 想 史	松 浦	3	講義		2	
		東 洋 思 想 史	永 瀬	5	講義		2	
		西 洋 思 想 史	加 藤 (皓)	6	講義		2	
		神 道 思 想 史	松 本	4	講義		2	
		哲 学 概 論	齊 藤 (正)	7	講義	2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	宗 教 科 教 育 法 I	川 又	3	講義		2	※
		宗 教 科 教 育 法 II	川 又	4	講義		2	※
		宗 教 科 教 育 法 III	川 又	5	講義		2	※
		宗 教 科 教 育 法 IV	川 又	6	講義		2	※
	各科目の単位を満たし (中)28単位以上、(高)24単位以上		合 計			(中) 30単位以上 (高) 34単位以上		

※中学校のみ免許取得及び中学校・高等学校の免許取得の場合は「宗教科教育法Ⅰ～Ⅳ」必修、高等学校のみ免許取得の場合は「宗教科教育法Ⅰ～Ⅱ」を必修とする。

## 国語（中学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論Ⅰ《音声・語彙》	齋藤(平)	1	講義	2		国文学科のみ履修可
		国語学概論Ⅱ《文法・書記》	齋藤(平)	4	講義	2		
		言語表現学概論Ⅰ	濱畑	6	講義	2		
		言語表現学概論Ⅱ	齋藤(平)	7	講義	2		
		国語学講読Ⅰ	齋藤(平)	2	演習		2	
		国語学講読Ⅱ	齋藤(平)	3	演習		2	
		国語史概説Ⅰ	齋藤(平)	4	講義		2	
	国語史概説Ⅱ	齋藤(平)	5	講義		2		
	国文学 (国文学史を含む。)	国文学概論Ⅰ《古典文学》	田中(康)	5	講義	2		国文学科のみ履修可
		国文学概論Ⅱ《近代文学》	平石	6	講義	2		
		国文学史概説Ⅰ 《上代・中古・中世》	大島・木村 吉井・石谷	1	講義	2		
		国文学史概説Ⅱ 《近世・近代・現代》	田中(康)・岡野(裕) 平石・石谷	2	講義	2		
		古典文学講義ⅠA	大島	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠB	吉井	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠC	木村	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠD	田中(康)	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠA	平石	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠB	岡野(裕)	4	講義		2	
		古典文学講義ⅡA	大島	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡB	吉井	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡC	木村	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡD	田中(康)	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡA	平石	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡB	岡野(裕)	5	講義		2	
		古典文学講読ⅠA	大島	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠB	吉井	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠC	木村	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠD	田中(康)	2	演習		2	
		近代文学講読Ⅰ	平石	2	演習		2	
		古典文学講読ⅡA	大島	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡB	吉井	3	演習		2	
	古典文学講読ⅡC	木村	3	演習		2		
	古典文学講読ⅡD	田中(康)	3	演習		2		
	近代文学講読Ⅱ	平石	3	演習		2		
	国文法概説Ⅰ	大島	3	講義		2		
	国文法概説Ⅱ	大島	4	講義		2		
	漢文学	漢文学概論Ⅰ《中国思想》	松下	3	講義	2		国文学科のみ履修可
		漢文学概論Ⅱ《中国文学》	松下	4	講義	2		
		漢文学講読Ⅰ	松下	2	演習		2	
		漢文学講読Ⅱ	松下	3	演習		2	
	書道 (書写を中心とする。)	書道Ⅰ	上小倉・岡野(央) 庄田	3	実技	1		国文学科のみ履修可
		書道Ⅱ	上小倉・岡野(央) 庄田	4	実技	1		
		専門演習ⅠⅠ(書道史)	上小倉	5	演習		2	
専門演習ⅡⅠ(書道史)		上小倉	6	演習		2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	花井	3	講義	2			
	国語科教育法Ⅱ	花井	4	講義	2			
	国語科教育法Ⅲ	中條	5	講義	2			
	国語科教育法Ⅳ	中條	6	講義	2			
合計	各科目の単位を満たし 合計28単位以上	合計			30単位以上			

## 国語（高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論Ⅰ《音声・語彙》	齋藤(平)	1	講義	2		国文学科のみ履修可
		国語学概論Ⅱ《文法・書記》	齋藤(平)	4	講義	2		
		言語表現学概論Ⅰ	濱畑	6	講義	2		
		言語表現学概論Ⅱ	齋藤(平)	7	講義	2		
		国語学講読Ⅰ	齋藤(平)	2	演習		2	
		国語学講読Ⅱ	齋藤(平)	3	演習		2	
		国語史概説Ⅰ	齋藤(平)	4	講義		2	
	国語史概説Ⅱ	齋藤(平)	5	講義		2		
	国文学 (国文学史を含む。)	国文学概論Ⅰ《古典文学》	田中(康)	5	講義	2		国文学科のみ履修可
		国文学概論Ⅱ《近代文学》	平石	6	講義	2		
		国文学史概説Ⅰ《上代・中古・中世》	大島・木村 吉井・石谷	1	講義	2		
		国文学史概説Ⅱ《近世・近代・現代》	田中(康)・岡野(裕) 平石・石谷	2	講義	2		
		古典文学講義ⅠA	大島	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠB	吉井	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠC	木村	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠD	田中(康)	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠA	平石	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠB	岡野(裕)	4	講義		2	
		古典文学講義ⅡA	大島	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡB	吉井	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡC	木村	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡD	田中(康)	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡA	平石	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡB	岡野(裕)	5	講義		2	
		古典文学講読ⅠA	大島	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠB	吉井	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠC	木村	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠD	田中(康)	2	演習		2	
		近代文学講読Ⅰ	平石	2	演習		2	
		古典文学講読ⅡA	大島	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡB	吉井	3	演習		2	
	古典文学講読ⅡC	木村	3	演習		2		
	古典文学講読ⅡD	田中(康)	3	演習		2		
	近代文学講読Ⅱ	平石	3	演習		2		
国文法概説Ⅰ	大島	3	講義		2			
国文法概説Ⅱ	大島	4	講義		2			
漢文学	漢文学概論Ⅰ《中国思想》	松下	3	講義	2		国文学科のみ履修可	
	漢文学概論Ⅱ《中国文学》	松下	4	講義	2			
	漢文学講読Ⅰ	松下	2	講義		2		
	漢文学講読Ⅱ	松下	3	講義		2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語科教育法Ⅰ	花井	3	講義	2			
	国語科教育法Ⅱ	花井	4	講義	2			
	国語科教育法Ⅲ	中條	5	講義		2		
	国語科教育法Ⅳ	中條	6	講義		2		
合計	各科目の単位を満たし合計24単位以上	合計			34単位以上			

## 書道（高等学校一種） 国文学科のみ

施行規則に定める科目区分等		各科目に含めることが必要な事項	本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	必修						選択		
教科及び教科の指導法に関する事項	書道 (書写を含む。)	書Ⅰ(漢字書法)	上小倉	3	実技	1			
		書Ⅱ(漢字書法)	上小倉	4	実技	1			
		書Ⅲ(金石書法)	岡野(央)	5	実技	1			
		書Ⅳ(金石書法)	岡野(央)	6	実技	1			
		書Ⅴ(仮名書法)	山本(の)	7	実技	1			
		書Ⅵ(仮名書法)	山本(の)	8	実技	1			
		書Ⅶ(作品制作)	上小倉	7	実技	1		隔週 2コマ	
		書Ⅷ(作品制作)	上小倉	8	実技	1		隔週 2コマ	
		書道Ⅰ	上小倉・岡野(央)・庄田	3	実技		1		
		書道Ⅱ	上小倉・岡野(央)・庄田	4	実技		1		
	書道史	専門演習ⅠⅠ(書道史)	上小倉	5	演習	2			
		専門演習ⅡⅠ(書道史)	上小倉	6	演習	2			
	「書論、鑑賞」	書論・鑑賞	上小倉	5	講義	2			
	「国文学、漢文学」	国文学概論Ⅰ《古典文学》	田中(康)	5	講義	2			
		国文学概論Ⅱ《近代文学》	平石	6	講義	2			
		国文学史概説Ⅰ《上代・中古・中世》	大島・木村吉	1	講義	2			
		国文学史概説Ⅱ《近世・近代・現代》	田中(康)・岡野(裕)・平石	2	講義	2			
		漢文学概論Ⅰ《中国思想》	松下	3	講義	2			
		漢文学概論Ⅱ《中国文学》	松下	4	講義	2			
		古典文学講義ⅠA	大島	4	講義		2		
		古典文学講義ⅠB	吉井	4	講義		2		
		古典文学講義ⅠC	木村	4	講義		2		
		古典文学講義ⅠD	田中(康)	4	講義		2		
		近代文学講義ⅠA	平石	4	講義		2		
		近代文学講義ⅠB	岡野(裕)	4	講義		2		
		古典文学講読ⅠA	大島	2	演習		2		
		古典文学講読ⅠB	吉井	2	演習		2		
		古典文学講読ⅠC	木村	2	演習		2		
		古典文学講読ⅠD	田中(康)	2	演習		2		
		近代文学講読Ⅰ	平石	2	演習		2		
		漢文学講読Ⅰ	松下	2	演習		2		
		漢文学講読Ⅱ	松下	3	演習		2	国文学科のみ履修可	
国文法概説Ⅰ		大島	3	講義		2			
国文法概説Ⅱ	大島	4	講義		2				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	書道科教育法Ⅰ	上小倉	5	講義	2		隔週 2コマ		
	書道科教育法Ⅱ	上小倉	6	講義	2		隔週 2コマ		
合計	各科目の単位を満たし合計24単位以上	合計			34単位以上				



## 社会（中学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考	
科目区分	各科目に含めること が必要な事項					必修	選択		
教科 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	日本史・外国史	国史概説A《古代》	遠藤（慶）	4	講義	2			
		国史概説B《中世》	岡野（友）	3	講義	2			
		国史概説C《近世》	松浦	2	講義	2			
		国史概説D《近現代》	谷口	1	講義	2			
		東洋史概説Ⅰ	堀内	3	講義	2			
		東洋史概説Ⅱ	堀内	4	講義		2		
		西洋史概説Ⅰ	坂井	3	講義	2			
		西洋史概説Ⅱ	坂井	4	講義		2		
		史学概論	谷口	4	講義		2		
		古文書学Ⅰ	岡野（友）	3	講義		2		
		古文書学Ⅱ	岡野（友）	4	講義		2		
		史料講読AⅠ《古代》	佐野	3	演習		2		
		史料講読AⅡ《古代》	佐野	4	演習		2		
		史料講読BⅠ《中世》	多田	3	演習		2		
		史料講読BⅡ《中世》	小林	4	演習		2		
		史料講読CⅠ《近世》	谷戸	3	演習		2		
		史料講読CⅡ《近世》	谷戸	4	演習		2		
		史料講読DⅠ《近代》	長谷川	3	演習		2		
		史料講読DⅡ《近代》	谷口	4	演習		2		
		史料講読EⅠ《東洋史》	堀内	3	演習		2		
		史料講読EⅡ《東洋史》	堀内	4	演習		2		
		日本史学史	遠藤（慶）	2	講義		2		
		考古学Ⅰ	川崎	3	講義		2		
		考古学Ⅱ	竹田（憲）	4	講義		2		
		美術史Ⅰ	岡野（智）	3	講義		2		
		美術史Ⅱ	岡野（智）	4	講義		2		
		東洋思想史	永瀬	5	講義		2		
		西洋思想史	加藤（皓）	6	講義		2		
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学Ⅰ	外山	3	講義	2			
		人文地理学Ⅱ	外山	4	講義		2		
		自然地理学	外山	1・2	講義	2			
		歴史地理学Ⅰ	外山	5	講義		2		
		歴史地理学Ⅱ	外山	6	講義		2		
		地誌学	外山	4	講義	2			
		「法学、政治学」	法学概論	村上	4	講義		2	法学概論又は政治学概論の何れか選択必修
			法制史特講	谷口	8	講義		2	
			政治学概論	佐々木	5	講義		2	
			政治学特講	谷口	7	講義		2	
		「社会学、経済学」	社会学概論	笠原	3	講義		2	社会学概論又は経済学概論の何れか選択必修 集中
			社会学特講	関根	3	講義		2	
			経済学概論	深井	4	講義		2	
			社会経済史	塩谷	7	講義		2	
		「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	齊藤（正）	7	講義		2	哲学概論又は宗教学概論Ⅰ・Ⅱの何れか選択必修 集中 集中
日本思想史	松浦		3	講義		2			
宗教学概論Ⅰ	板井・中山（郁）		3	講義		2			
宗教学概論Ⅱ	板井・中山（郁）		4	講義		2			
日本宗教史	多田		4	講義		2			
世界宗教史Ⅰ	宮坂		5	講義		2			
世界宗教史Ⅱ	宮坂	6	講義		2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	服部	5	講義	2				
	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	服部	6	講義	2				
	社会科・公民科教育法Ⅰ	服部	5	講義	2				
	社会科・公民科教育法Ⅱ	服部	6	講義	2				
合計	各科目の単位を満たし 合計28単位以上	合計			32単位以上				



## 地理歴史（高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科 科 及 び 教 科 に 関 す る 指 導 法 に 関 す る 科 目	日 本 史	国史概説A《古代》	遠藤（慶）	4	講義	2		
		国史概説B《中世》	岡野（友）	3	講義	2		
		国史概説C《近世》	松浦	2	講義	2		
		国史概説D《近現代》	谷口	1	講義	2		
		史料講読AⅠ《古代》	佐野	3	演習		2	
		史料講読AⅡ《古代》	佐野	4	演習		2	
		史料講読BⅠ《中世》	多田	3	演習		2	
		史料講読BⅡ《中世》	小林	4	演習		2	
		史料講読CⅠ《近世》	谷戸	3	演習		2	
		史料講読CⅡ《近世》	谷戸	4	演習		2	
		史料講読DⅠ《近代》	長谷川	3	演習		2	
		史料講読DⅡ《近代》	谷口	4	演習		2	
		古文書学Ⅰ	岡野（友）	3	講義		2	
		古文書学Ⅱ	岡野（友）	4	講義		2	
		日本史学史	遠藤（慶）	2	講義		2	
		考古学Ⅰ	川崎	3	講義		2	
		考古学Ⅱ	竹田（憲）	4	講義		2	
	美術史Ⅰ	岡野（智）	3	講義		2		
	美術史Ⅱ	岡野（智）	4	講義		2		
	外 国 史	東洋史概説Ⅰ	堀内	3	講義	2		
		東洋史概説Ⅱ	堀内	4	講義		2	
		西洋史概説Ⅰ	坂井	3	講義	2		
		西洋史概説Ⅱ	坂井	4	講義		2	
		東洋思想史	永瀬	5	講義		2	
		西洋思想史	加藤（皓）	6	講義		2	
		史学概論	谷口	4	講義		2	
		外国史特講《東洋史》	堀内	6	講義		2	
史料講読EⅠ《東洋史》		堀内	3	演習		2		
史料講読EⅡ《東洋史》		堀内	4	演習		2		
人 文 地 理 学 ・ 自 然 地 理 学	人文地理学Ⅰ	外山	3	講義	2			
	人文地理学Ⅱ	外山	4	講義		2		
	自然地理学	外山	1・2	講義	2			
	歴史地理学Ⅰ	外山	5	講義		2		
	歴史地理学Ⅱ	外山	6	講義		2		
地 誌	地誌学	外山	4	講義	2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	服部	5	講義	2			
	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	服部	6	講義	2			
合 計	各科目の単位を満たし 合計24単位以上	合 計			34単位以上			

### 公民（高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む）」	法律学概論	村上	4	講義	2		
		法制史特講	谷口	8	講義		2	
		政治学概論	佐々木	5	講義	2		
		政治学特講	谷口	7	講義		2	
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概論	笠原	3	講義	2		現日は2セメ
		社会学特講	関根	3	講義		2	
		経済学概論	深井	4	講義	2		集中
		社会経済史	塩谷	7	講義		2	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	齊藤（正）	7	講義	2		集中 集中
		日本思想史	松浦	3	講義		2	
		宗教学概論Ⅰ	板井・中山（郁）	3	講義	2		
		宗教学概論Ⅱ	板井・中山（郁）	4	講義	2		
		日本宗教史	多田	4	講義		2	
		世界宗教史Ⅰ	宮坂	5	講義		2	
		世界宗教史Ⅱ	宮坂	6	講義		2	
	心理学概論Ⅰ	芳賀	1	講義	2			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」	社会科・公民科教育法Ⅰ	服部	5			2	
社会科・公民科教育法Ⅱ		服部	6			2		
合計	各科目の単位を満たし合計24単位以上	合計			34単位以上			

※現代日本社会学科の学生は「社会学特講」以外を履修することが望ましい。

## 英語（中学校一種・高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		各科目に含めること が必要な事項	本学開設授業科目	担 当 者	セメスター	種別	単位数		備 考
科目区分	必修						選択		
教 科 及 び 関 係 す る 指 導 法 に 関 す る 科 目	教 科	英 語 学	英 語 学 概 論 I	玉 田	1	講義	2		
			英 語 学 概 論 II	玉 田	2	講義		2	
			英 語 音 声 学 I	C.メイヨー	3	演習	2		
			英 語 音 声 学 II	C.メイヨー	4	演習		2	
			英 文 法 I	玉 田	1	講義	2		
			英 文 法 II	玉 田	2	講義		2	
	英 語 文 学	英 文 学 概 論 I	折 原	3	講義	2			
		英 文 学 概 論 II	折 原	4	講義	2			
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	プ ラ ク テ ィ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ I	ウ ッ ズ	3	演習	2			
		プ ラ ク テ ィ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ II	ウ ッ ズ	4	演習	2			
		リーディング・ ライティングスキル I	玉 田 玉 児 メイヨー(幸)	3	演習		2		
		リーディング・ ライティングスキル II	玉 田 玉 児 メイヨー(幸)	4	演習		2		
		英 会 話 中 級	ウ ッ ズ	5	演習		2		
		英 会 話 上 級	ウ ッ ズ	6	演習		2		
		時 事 英 語	豊 住	7	演習		2		
		異 文 化 理 解	異文化間コミュニケーションI	荊 木	1	講義	2		
	異文化間コミュニケーションII		川 村	2	講義	2			
	海 外 事 情 I		C.メイヨー	3	講義		2		
	海 外 事 情 II		C.メイヨー	4	講義		2		
	各教科の指導法（情報通 信技術の活用を含む。）	英 語 科 教 育 法 I	豊 住	3	講義		2	※	
英 語 科 教 育 法 II		豊 住	4	講義		2	※		
英 語 科 教 育 法 III		豊 住	5	講義		2	※		
英 語 科 教 育 法 IV		豊 住	6	講義		2	※		
各科目の単位を満たし (中)28単位以上、(高)24単位以上		合 計			(中) 30単位以上 (高) 34単位以上				

※中学校のみ免許取得及び中学校・高等学校の免許取得の場合は「英語科教育法 I～IV」必修、高等学校のみ免許取得の場合は「英語科教育法 I～II」を必修とする。

## 数学（中学校一種）

施行規則に定める科目区分等		各科目に含めること が必要な事項	本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備 考
科目区分	科目						必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	代 数 学	代 数 学 序 論	村 瀬	2	講義	2			
		代 数 学 I	村 瀬	3	講義	2			
		代 数 学 II	村 瀬	4	講義	2			
		代 数 学 III	村 瀬	5	講義		2		
		代 数 学 IV	村 瀬	6	講義		2		
	幾 何 学	幾 何 学 序 論	村 瀬	2	講義	2			
		幾 何 学 I	村 瀬	3	講義	2			
		幾 何 学 II	村 瀬	4	講義	2			
		幾 何 学 III	村 瀬	5	講義		2		
		幾 何 学 IV	村 瀬	6	講義		2		
	解 析 学	解 析 学 序 論	濱 谷	2	講義	2			
		解 析 学 I	濱 谷	3	講義	2			
		解 析 学 II	濱 谷	4	講義	2			
		解 析 学 III	上 野	5	講義		2		
		解 析 学 IV	上 野	6	講義		2		
	「確率論、統計学」	確 率・統 計 学 I	濱 谷	5	講義	2			
		確 率・統 計 学 II	濱 谷	6	講義		2		
	コンピュータ	コンピュータ概論	張	5	講義	2			
		コンピュータ演習	張	6	演習		2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）	数 学 科 教 育 法 I	上 野	2	講義	2			
数 学 科 教 育 法 II		上 野	3	講義	2				
数 学 科 教 育 法 III		上 野	4	講義	2				
数 学 科 教 育 法 IV		上 野	5	講義	2				
合 計	各科目の単位を満たし合計28単位以上	合 計			30単位以上				

## 数学（高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		各科目に含めること が必要な事項	本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	必修						選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	代 数 学	代 数 学 序 論	村 瀬	2	講義	2			
		代 数 学 I	村 瀬	3	講義	2			
		代 数 学 II	村 瀬	4	講義	2			
		代 数 学 III	村 瀬	5	講義		2		
		代 数 学 IV	村 瀬	6	講義		2		
	幾 何 学	幾 何 学 序 論	村 瀬	2	講義	2			
		幾 何 学 I	村 瀬	3	講義	2			
		幾 何 学 II	村 瀬	4	講義	2			
		幾 何 学 III	村 瀬	5	講義		2		
		幾 何 学 IV	村 瀬	6	講義		2		
	解 析 学	解 析 学 序 論	濱 谷	2	講義	2			
		解 析 学 I	濱 谷	3	講義	2			
		解 析 学 II	濱 谷	4	講義	2			
		解 析 学 III	上 野	5	講義		2		
		解 析 学 IV	上 野	6	講義		2		
	「確率論、統計学」	確 率・統 計 学 I	濱 谷	5	講義	2			
		確 率・統 計 学 II	濱 谷	6	講義		2		
	コンピュータ	コンピュータ概論	張	5	講義	2			
		コンピュータ演習	張	6	演習		2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）	数 学 科 教 育 法 I	上 野	2	講義	2			
数 学 科 教 育 法 II		上 野	3	講義	2				
数 学 科 教 育 法 III		上 野	4	講義		2			
数 学 科 教 育 法 IV		上 野	5	講義		2			
合 計	各科目の単位を満たし合計24単位以上	合 計			34単位以上				

## 保健体育（中学校一種・高等学校一種）〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択		
カリキュラム (教免取得要件 保健体育 中・高一種) 教育学部 R5	教科及び教科の指導法に関する事項	体育実技	体育実技(陸上)	叶	4	演習	2	集中	
			体育実技(器械運動・体づくり運動)	加藤(純)	3	演習	2		
			体育実技(ダンス・舞踊)	後藤	5	演習	2		
			体育実技(球技)	片山	3	演習	2		
			体育実技(水泳)	片山	3	演習	1		
			体育実技(柔道)	佐藤	3・4	演習	2		
			体育実技(野外活動)	片山	4	演習	1		
	教科に関する専門的事項	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育原理	叶	1	講義	2	隔週	
			体育史	中村(哲夫)	2	講義	2		
			体育心理学	叶	4	講義	2		
			体育経営管理学	中村(哲夫)	6	講義	2		
			体育社会学	中村(哲夫)	5	講義	2		
			運動学(運動方法学)	佐藤	6	講義	2		
		生理学(運動生理学を含む)	生理学	片山	2	講義	2		
			バイオメカニクス	広野	3	講義	2		
			衛生学・公衆衛生学	衛生学	片山	3	講義		2
				公衆衛生学	片山	4	講義		2
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健	片山	5	講義	2			
		子どもの保健	小川	5	講義	2			
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	保健体育科教育法Ⅰ	加藤(純)	3	講義	2	※		
		保健体育科教育法Ⅱ	加藤(純)	4	講義	2	※		
		保健体育科教育法Ⅲ	加藤(純)	5	講義	2	※		
		保健体育科教育法Ⅳ	加藤(純)	6	講義	2	※		
	各科目の単位を満たし(中)28単位以上、(高)24単位以上		合計			(中)29単位以上 (高)34単位以上			

※中学校のみ免許取得及び中学校・高等学校の免許取得の場合は「保健体育科教育法Ⅰ～Ⅳ」必修、高等学校のみ免許取得の場合は「保健体育科教育法Ⅰ～Ⅱ」を必修とする。



## 「小学校教諭一種免許状」取得要件 教育学部

- 条件 教育学部生であって卒業単位を修得していること。  
 教育の基礎的理解に関する科目等、大学が独自に設定する科目、教科及び教科の指導法に関する科目を修得していること。  
 規則第66条の6に定める科目を修得していること。

### ○教育の基礎的理解に関する科目等〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考
科目	各科目に含めること が必要な事項	単位					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	野々垣	1	講義	2		中一種免許単位充当
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教職論	野々垣	2	講義	2		中一種免許単位充当
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の社会と制度	市田	6	講義	2		中一種免許単位充当
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	渡邊(賢)	2	講義	2		中一種免許単位充当
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎	大杉 山本(智)	3	講義	2		中一種免許単位充当
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	井上(兼)	5・6	講義	2		中一種免許単位充当
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳の理論及び指導法	渡邊(毅)	1	講義	2		中一種免許単位充当
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	駒田	7	講義	1		中一種免許単位充当
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	勢力(稔)	6	講義	1		中一種免許単位充当
	教育の方法及び技術		教育方法論(ICTの活用を含む)	勢力(稔)	4	講義	2		中一種免許単位充当
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		-	-					「教育方法論(ICT活用を含む)」を履修
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論及び方法	渡邊(賢)	6	講義	2		中一種免許単位充当
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	吉田(直)	5・6	講義	2		中一種免許単位充当
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		-	-					「生徒・進路指導の理論及び方法」を履修
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導(小学校)	教育学科専任教員	5-6	演習	1		隔週
			教育実習(小学校)	教育学科専任教員	5-6	実習	4		
	教職実践演習	2	教職実践演習(初等)	渡邊(賢) 渡邊(毅)・市田 井上(兼)・小川 土谷・山本(智) 萩原(浩)・吉田(京)	8	演習	2		「教職実践演習(中等)」の単位充当
合計		27単位以上	合計			29単位以上			

(注) ○小学校免許を副免許とする場合、主免許の実習の2単位を流用するため「教育実習(小学校)副免許 2単位」を履修することで、「教育実習(小学校)4単位」を修得できる。

### ○大学が独自に設定する科目〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考
科目区分	単位	必修					選択		
大学が独自に設定する科目	小2単位以上		介護等体験実習	多田・平石 大杉・井上(兼) 高橋(肇)・藤井(恭)	3-4	実習	1		隔週

※施行規則に定める単位数より不足している単位については「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」より流用。

## ○教科及び教科の指導法に関する科目〔小学校〕〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	児童国語	中 條	3	演習		2	書写を含む  10単位以上 選択必修
	社会	児童社会	萩原(浩)	4	演習		2	
	算数	児童算数	上 野	3	演習		2	
	理科	児童理科	中松・澤・奥村 上島・楠木	3・4	演習		2	
	生活	児童生活	駒田・勢力(稔) 小川・萩原(浩)	3	演習		2	
	音楽	児童音楽	高橋(摩)・井上(ヒ) 北川・中山(侑) 橋本(由)	3・4	演習		2	
	図画工作	児童造形	加藤(茂)	3・4	演習		2	
	家庭	児童家庭	駒 田	3・4	演習		2	
	体育	児童体育	加藤(純)・叶 中村(哲夫)	5・6	演習		2	
	外国語	児童英語	川 村	4	演習		2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	国語科教育法	中 條	4	講義	2		
	社会	社会科教育法	萩原(浩)	3	講義	2		
	算数	算数科教育法	上 野	4	講義	2		
	理科	理科教育法	中松・澤	3	講義	2		
	生活	生活科教育法	萩原(浩)	6	講義	2		
	音楽	音楽科教育法	高橋(摩)	3・4	講義	2		
	図画工作	図画工作科教育法	加藤(茂)	5・6	講義	2		
	家庭	家庭科教育法	駒 田	6	講義	2		
	体育	体育科教育法	加藤(純)	4	講義	2		
	外国語	英語科教育法	豊 住	5・6	講義	2		
合計	30単位以上	合 計			30単位以上			

## 「幼稚園教諭一種免許状」取得要件

- 条 件 教育学部生であって卒業単位を修得していること。  
 教育の基礎的理解に関する科目等、領域及び保育内容の指導法に関する科目を修得していること。  
 規則第66条の6に定める科目を修得していること。

注 意 施行規則に定める「大学が独自に設定する科目」（14単位）については、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「領域及び保育内容の指導法に関する科目」より流用。

### ○教育の基礎的理解に関する科目等〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考
科目	各科目に含めること が必要な事項	単位					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教 育 学 概 論	野々垣	1	講義	2		小一種免許単位充当
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教 職 論	野々垣	2	講義	2		小一種免許単位充当
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の社会と制度	市 田	6	講義	2		小一種免許単位充当
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		子どもの心理学	吉田(直)	3	講義	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育・学校心理学	渡邊(賢)	2	講義	2		小一種免許単位充当
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎	大 杉 山本(智)	3	講義	2		小一種免許単位充当
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	井上(兼)	5・6	講義	2		小一種免許単位充当
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論 (ICTの活用を含む)	勢力(稔)	4	講義	2		小一種免許単位充当
	幼児理解の理論及び方法		幼 児 理 解	吉田(直)	4	演習	1		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教 育 相 談	吉田(直)	5・6	講義	2		小一種免許単位充当
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導(幼稚園)	吉田(京)	5-6	演習	1		隔週
			教育実習(幼稚園)	吉田(京)	5-6	実習	4		
	教職実践演習	2	教職実践演習(初等)	渡邊(賢) 渡邊(毅)・市田 井上(兼)・小川 土谷・山本(智) 萩原(浩)・吉田(京)	8	演習	2		小一種免許単位充当
合計		21単位以上	合 計			26単位以上			

## ○領域及び保育内容の指導法に関する科目〔幼稚園〕〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	小川	3	演習	2		
	人間関係	幼児と人間関係	土谷	3	演習	2		
	環境	幼児と環境	中松・土谷・澤萩原・中村(真)	3	演習	2		
	言葉	幼児と言葉	中條	3	演習	2		
	表現	幼児と表現(身体)	松田(秀)	4	演習	2		
		幼児と表現(造形)	真下	4	演習	2		
幼児と表現(音楽)		高橋(摩)・井上(ヒ) 北川・中山(侑) 橋本(由)	4	演習	2			
保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容の指導法	保育指導の方法	土谷	5	講義	2		
	保育内容の指導法 健康	健康(指導法)	小川	4	演習	2		
	保育内容の指導法 人間関係	人間関係(指導法)	土谷	2	演習	2		
	保育内容の指導法 環境	環境(指導法)	吉田(京)	4	演習	2		
	保育内容の指導法 言葉	言葉(指導法)	土谷	3	演習	2		
	保育内容の指導法 表現	身体表現(指導法)	松田(秀)	5	演習	2		
造形表現(指導法)		真下	4	演習	2			
音楽表現(指導法)		高橋(摩)・井上(ヒ) 北川・中山(侑) 橋本(由)	5	演習	2			
合計	16単位以上	合計			30単位以上			

## 「教員免許状の取得要件」

○教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目〈全教員免許共通〉

〈文学部・教育学部・現代日本社会学部〉

施行規則に定める 科目区分	単位	本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
						必修	選択	
日本国憲法	2単位以上	法学（日本国憲法）	富 永	3	講義	2		
体 育	2単位以上	ス ポ ー ツ I	叶・中村(哲夫) 佐藤・松葉	1	実技		1	これら6科目より2科目選択必修
		ス ポ ー ツ II	叶・中村(哲夫) 佐藤・松葉	2	実技		1	
		アダプテッドスポーツ I	叶	1	実技		1	
		アダプテッドスポーツ II	叶	2	実技		1	
		武 道 I 《柔道・剣道》	加藤(純)・佐藤 松田(悠)	1	実技		1	
		武 道 II 《柔道・剣道》	加藤(純)・佐藤 松田(悠)	2	実技		1	
外国語 コミュニケーション	2単位以上	英語表現 I 《初級》	川村・玉田 伊藤(ひ)・小野 折原・倉田 児玉・近藤 竹 内	1	演習		1	これら6科目より2科目選択必修
		英語表現 II 《初級》	川村・玉田 伊藤(ひ)・小野 折原・倉田 児玉・近藤 竹 内	2	演習		1	
		英語表現 III 《中級》	平 井 メイヨー(幸)	1	演習		1	
		英語表現 IV 《中級》	平 井 メイヨー(幸)	2	演習		1	
		英語表現 V 《上級》	C.メイヨー 近 藤	1	演習		1	
		英語表現 VI 《上級》	C.メイヨー 近 藤	2	演習		1	
数理、データ活用 及び人工知能に関する 科目又は情報機器の 操作	2単位以上	情報処理 I (基礎)	張 王 ・ 石 田 王 ・ 内 藤	1	演習	1		
		情報処理 II (応用)	張 王 ・ 石 田 王 ・ 内 藤	2	演習	1		
合 計	8単位以上	合 計				8単位以上		

## 「中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状」取得要件

- 条件 文学部生又は教育学部生又は現代日本社会学部生であって卒業単位を修得していること。  
 教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目を修得していること。  
 規則第66条の6に定める科目を修得していること。  
 中学校教諭一種免許状取得については、大学が独自に設定する科目を修得すること。

### ○教育の基礎的理解に関する科目等〈文学部・現代日本社会学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	服部	1	講義	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教職論	服部	3	講義	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の社会と制度	市田	6	講義	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	渡邊(賢)・芳賀	3	講義	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎(中等)	大杉	4	講義	2			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論(中等)	井上(兼)	5	講義	2			
生徒指導、教育的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳の理論及び指導法(中等)	服部	5	講義	2		中一種免のみ 文学部のみ	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法(中等)	駒田・萩原(浩)	7	講義	1			
	特別活動の指導法		特別活動の指導法(中等)	勢力(よ)	5	講義	1			
	教育の方法及び技術		R4以降入学生 中等教育方法論(ICTの活用を含む) R3以前入学生 教育方法学(中等)	勢力(稔)	5	講義	2			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		-	-						「中等教育方法論(ICTの活用を含む)」(R4以降入学生) 「教育方法学(中等)」(R3以前入学生)を履修
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論及び方法	服部	6	講義	2			
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(中等)	渡邊(賢)	5	講義	2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		-	-						「生徒・進路指導の理論及び方法」を履修
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習事前事後指導(中等)	教職科目担当教員	7-8	演習	1		隔週「教育実習事前事後指導(中等)」については「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」と同時履修すること。	
	教育実習Ⅰ		教職科目担当教員	7-8	実習	4		中免取得者は「教育実習Ⅰ」を高免取得者は「教育実習Ⅱ」を中高取得者は「教育実習Ⅰ」を履修すること。		
	教育実習Ⅱ		教職科目担当教員	7-8	実習	2				
	教職実践演習	2	教職実践演習(中等)	平石・服部・多田 豊住・加藤(純) 渡邊(毅)・野々垣	8	演習	2			
合計	中27単位以上 高23単位以上	合計				中29単位以上 高25単位以上				

(注) ○「道徳の理論及び指導法(中等)」を欠く場合は、中学校免許が取得できない。  
 ○中学校・高等学校の免許と小学校の免許を併せて取得する場合は、中学校・高等学校免許の「教職実践演習(中等)」の単位を「教職実践演習(初等)」の単位に充当することができるので、「教職実践演習(初等)」を併せて履修する必要はない。  
 (中学校・高等学校免許を主免許とする場合は、「教職実践演習(中等)」のみ履修登録すること。)

### ○大学が独自に設定する科目〈文学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考
科目区分		必修					選択		
大学が独自に設定する科目	中4単位以上 高12単位以上	介護等体験実習	多田・平石 大杉・井上(兼) 高橋(摩)・藤井(恭)	5-6	実習	1		隔週 中一種免のみ	

※施行規則に定める単位数より不足している単位については「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」より流用。



## ○教育の基礎的理解に関する科目等〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考
科目	各科目に含めること が必要な事項	単 位					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教 育 学 概 論	野々垣	1	講義	2		小一種免許単位充当
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教 職 論	野々垣	2	講義	2		小一種免許単位充当
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教 育 の 社 会 と 制 度	市田	6	講義	2		小一種免許単位充当
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教 育 ・ 学 校 心 理 学	渡邊(賢)	2	講義	2		小一種免許単位充当
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特 別 支 援 教 育 の 基 礎	大杉	3	講義	2		小一種免許単位充当
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教 育 課 程 論	井上(兼)	5・6	講義	2		小一種免許単位充当
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道 徳 の 理 論 及 び 指 導 法	渡邊(毅)	1	講義	2		中一種免のみ 小一種免許単位充当
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	駒田・萩原(浩)	7	講義	1		小一種免許単位充当
	特別活動の指導法		特 別 活 動 の 指 導 法	勢力(稔)	6	講義	1		小一種免許単位充当
	教育の方法及び技術		R4以降入学生 教育方法論(ICTの活用を含む) R3以前入学生 教 育 方 法 学	勢力(稔)	4	講義	2		小一種免許単位充当
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		-	-					「教育方法論(ICTの活用を含む)」(R4以降入学生) 「教育方法学」(R3以前入学生)を履修
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論及び方法	服部	6	講義	2		小一種免許単位充当
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教 育 相 談	吉田(直)	5・6	講義	2		小一種免許単位充当
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		-	-					「生徒・進路指導の理論及び方法」を履修
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習事前事後指導(中等)	教職科目担当教員	5-6	演習	1		隔週「教育実習事前事後指導(中等)」については「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」と同時履修すること。
			教 育 実 習 Ⅰ	教職科目担当教員	5-6	実習	4		中免取得者は「教育実習Ⅰ」を高免取得者は「教育実習Ⅱ」を中高取得者は「教育実習Ⅰ」を履修すること。
			教 育 実 習 Ⅱ	教職科目担当教員	5-6	実習	2		
	教職実践演習	2	教 職 実 践 演 習 ( 中 等 )	平石・服部・多田 豊住・加藤(純) 渡邊(毅)・野々垣	8	演習	2		「教職実践演習(初等)」の単位充当
合 計	中27単位以上 高23単位以上	合 計				中29単位以上 高25単位以上			

- (注) ○「道徳の理論及び指導法」を欠く場合は、中学校免許が取得できない。  
 ○中学校・高等学校の免許と小学校の免許を併せて取得する場合は、中学校・高等学校免許の「教職実践演習(中等)」の単位を「教職実践演習(初等)」の単位に充当することができるので、「教職実践演習(初等)」を併せて履修する必要はない。(中学校・高等学校免許を主免許とする場合は、「教職実践演習(中等)」のみ履修登録すること。)  
 ○学校教育コースの学生について、副免許である中学校実習は、小学校実習の2単位を流用するため、「教育実習Ⅰ(中学校)副免許2単位」を履修することで、「教育実習Ⅰ4単位」を修得できる。

## ○大学が独自に設定する科目〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考
科目区分	単 位	必修					選択		
大学が独自に設定する科目	中4単位以上 高12単位以上		介 護 等 体 験 実 習	多田・平石 大杉・井上(兼) 高橋(摩)・藤井(恭)	3-4	実習	1		隔週 中一種免のみ

\*施行規則に定める単位数より不足している単位については「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」より流用。

## ○教科及び教科の指導法に関する科目

## 宗教（中学校一種・高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
カリキュラム (教免取得要件 宗教 中・高一種 H31~R4) 教科及び教科の指導法に関する専門的事項	宗 教 学	宗 教 学 概 論 I	板井・中山(郁)	3	講義	2		集中
		宗 教 学 概 論 II	板井・中山(郁)	4	講義	2		
		仏 教 概 説	久 間	3	講義		2	
		神 道 概 論 I	高 野	3	講義	2		
		神 道 概 論 II	高 野	4	講義	2		
		宗 教 学 講 義 I	板 井	3	講義	2		
		宗 教 学 講 義 II	中 山(郁)	4	講義	2		
		神 道 文 献	高 野	1	講義		2	
		神 道 教 化 概 論 I	板 井	5	講義		2	
		神 道 教 化 概 論 II	板 井	6	講義		2	
	宗 教 史	世 界 宗 教 史 I	宮 坂	5	講義	2		集中
		世 界 宗 教 史 II	宮 坂	6	講義	2		集中
		日 本 宗 教 史	多 田	4	講義		2	
		神 道 史 I	加 茂	3	講義		2	
		神 道 史 II	加 茂	4	講義		2	
		近 代 神 道 史	高 野	3	講義		2	
		神 宮 史 I	塩 川	3	講義		2	
		神 宮 史 II	谷 戸	4	講義		2	
	「教理学、哲学」	神 道 神 学 I	松 本	7	講義	2		
		神 道 神 学 II	松 本	8	講義	2		
		祭 祀 概 論 I	加 茂	3	講義		2	
		祭 祀 概 論 II	加 茂	4	講義		2	
		日 本 思 想 史	松 浦	3	講義		2	
		東 洋 思 想 史	永 瀬	5	講義		2	
		西 洋 思 想 史	加 藤(皓)	6	講義		2	
		神 道 思 想 史	松 本	4	講義		2	
		哲 学 概 論	齊 藤(正)	7	講義	2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	宗 教 科 教 育 法 I	川 又	3	講義		2	※
		宗 教 科 教 育 法 II	川 又	4	講義		2	※
		宗 教 科 教 育 法 III	川 又	5	講義		2	※
		宗 教 科 教 育 法 IV	川 又	6	講義		2	※
	各科目の単位を満たし (中)28単位以上、(高)24単位以上		合 計			(中) 30単位以上 (高) 34単位以上		

※中学校のみ免許取得及び中学校・高等学校の免許取得の場合は「宗教科教育法Ⅰ～Ⅳ」必修、高等学校のみ免許取得の場合は「宗教科教育法Ⅰ～Ⅱ」を必修とする。

国語（中学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論Ⅰ《音声・語彙》	齋藤(平)	1	講義	2		
		国語学概論Ⅱ《文法・書記》	齋藤(平)	4	講義	2		
		言語表現学概論Ⅰ	濱畑	6	講義	2		
		言語表現学概論Ⅱ	齋藤(平)	7	講義	2		
		国語学講読Ⅰ	齋藤(平)	2	演習		2	
		国語学講読Ⅱ	齋藤(平)	3	演習		2	
		国語史概説Ⅰ	齋藤(平)	4	講義		2	
	国語史概説Ⅱ	齋藤(平)	5	講義		2		
	国文学 (国文学史を含む。)	国文学概論Ⅰ《古典文学》	田中(康)	5	講義	2		
		国文学概論Ⅱ《近代文学》	平石	6	講義	2		
		国文学史概説Ⅰ 《上代・中古・中世》	大島・木村 吉井・石谷	1	講義	2		
		国文学史概説Ⅱ 《近世・近代・現代》	田中(康)・岡野(裕) 平石・石谷	2	講義	2		
		古典文学講義ⅠA	大島	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠB	吉井	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠC	木村	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠD	田中(康)	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠA	平石	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠB	岡野(裕)	4	講義		2	
		古典文学講義ⅡA	大島	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡB	吉井	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡC	木村	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡD	田中(康)	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡA	平石	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡB	岡野(裕)	5	講義		2	
		古典文学講読ⅠA	大島	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠB	吉井	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠC	木村	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠD	田中(康)	2	演習		2	
		近代文学講読ⅠA	平石	2	演習		2	
		近代文学講読ⅠB		2	演習		2	
		古典文学講読ⅡA	大島	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡB	吉井	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡC	深津	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡD	田中(康)	3	演習		2	
		近代文学講読ⅡA	平石	3	演習		2	
		近代文学講読ⅡB	石谷	3	演習		2	
		国文法概説Ⅰ	大島	3	講義		2	
		国文法概説Ⅱ	大島	4	講義		2	
	漢文学	漢文学概論Ⅰ《春秋戦国～漢代》	松下	3	講義	2		
		漢文学概論Ⅱ《六朝～明清》	松下	4	講義	2		
		漢文学講読Ⅰ	松下	2	演習		2	
		漢文学講読Ⅱ	松下	3	演習		2	
	書道 (書写を中心とする。)	書道Ⅰ	上小倉・岡野(央) 庄田	3	実技	1		
		書道Ⅱ	上小倉・岡野(央) 庄田	4	実技	1		
		専門演習ⅠⅠ(書道史)	上小倉	5	演習		2	国文学科のみ履修可
		専門演習ⅡⅠ(書道史)	上小倉	6	演習		2	国文学科のみ履修可
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	花井	3	講義	2		
国語科教育法Ⅱ		花井	4	講義	2			
国語科教育法Ⅲ		中條	5	講義	2			
国語科教育法Ⅳ		中條	6	講義	2			
合計	各科目の単位を満たし 合計28単位以上	合計			30単位以上			

カリキュラム

(教免取得要件 国語 中一種 H31~R4)

## 国語（高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論Ⅰ《音声・語彙》	齋藤(平)	1	講義	2		
		国語学概論Ⅱ《文法・書記》	齋藤(平)	4	講義	2		
		言語表現学概論Ⅰ	演畑	6	講義	2		
		言語表現学概論Ⅱ	齋藤(平)	7	講義	2		
		国語学講読Ⅰ	齋藤(平)	2	演習		2	
		国語学講読Ⅱ	齋藤(平)	3	演習		2	
		国語史概説Ⅰ	齋藤(平)	4	講義		2	
	国語史概説Ⅱ	齋藤(平)	5	講義		2		
	国文学 (国文学史を含む。)	国文学概論Ⅰ《古典文学》	田中(康)	5	講義	2		
		国文学概論Ⅱ《近代文学》	平石	6	講義	2		
		国文学史概説Ⅰ 《上代・中古・中世》	大島・木村 吉井・石谷	1	講義	2		
		国文学史概説Ⅱ 《近世・近代・現代》	田中(康)・岡野(裕) 平石・石谷	2	講義	2		
		古典文学講義ⅠA	大島	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠB	吉井	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠC	木村	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠD	田中(康)	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠA	平石	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠB	岡野(裕)	4	講義		2	
		古典文学講義ⅡA	大島	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡB	吉井	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡC	木村	5	講義		2	
		古典文学講義ⅡD	田中(康)	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡA	平石	5	講義		2	
		近代文学講義ⅡB	岡野(裕)	5	講義		2	
		古典文学講読ⅠA	大島	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠB	吉井	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠC	木村	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠD	田中(康)	2	演習		2	
		近代文学講読ⅠA	平石	2	演習		2	
		近代文学講読ⅠB		2	演習		2	不開講
		古典文学講読ⅡA	大島	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡB	吉井	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡC	深津	3	演習		2	
		古典文学講読ⅡD	田中(康)	3	演習		2	
		近代文学講読ⅡA	平石	3	演習		2	
	近代文学講読ⅡB	石谷	3	演習		2		
	国文法概説Ⅰ	大島	3	講義		2		
	国文法概説Ⅱ	大島	4	講義		2		
	漢文学	漢文学概論Ⅰ《春秋戦国～漢代》	松下	3	講義	2		
		漢文学概論Ⅱ《六朝～明清》	松下	4	講義	2		
		漢文学講読Ⅰ	松下	2	講義		2	
		漢文学講読Ⅱ	松下	3	講義		2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語科教育法Ⅰ	花井	3	講義	2			
	国語科教育法Ⅱ	花井	4	講義	2			
	国語科教育法Ⅲ	中條	5	講義		2		
	国語科教育法Ⅳ	中條	6	講義		2		
合計	各科目の単位を満たし 合計24単位以上	合計			34単位以上			

## 書道（高等学校一種） 国文学科のみ

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 事 項 目	書道 〔書写を含む。〕	書Ⅰ（漢字書法）	上小倉	3	実技	1		隔週 2コマ 隔週 2コマ
		書Ⅱ（漢字書法）	上小倉	4	実技	1		
		書Ⅲ（金石書法）	岡野（央）	5	実技	1		
		書Ⅳ（金石書法）	岡野（央）	6	実技	1		
		書Ⅴ（仮名書法）	山本（の）	7	実技	1		
		書Ⅵ（仮名書法）	山本（の）	8	実技	1		
		書Ⅶ（作品制作）	上小倉	7	実技	1		
		書Ⅷ（作品制作）	上小倉	8	実技	1		
		書道Ⅰ	上小倉・岡野（央） 庄田	3	実技		1	
		書道Ⅱ	上小倉・岡野（央） 庄田	4	実技		1	
	書道史	専門演習ⅠⅠ（書道史）	上小倉	5	演習	2		
		専門演習ⅡⅠ（書道史）	上小倉	6	演習	2		
	「書論、鑑賞」	書論・鑑賞	上小倉	5	講義	2		
	「国文学、漢文学」	国文学概論Ⅰ《古典文学》	田中（康）	5	講義	2		
		国文学概論Ⅱ《近代文学》	平石	6	講義	2		
		国文学史概説Ⅰ 《上代・中古・中世》	大島・木村 吉井	1	講義	2		
		国文学史概説Ⅱ 《近世・近代・現代》	田中（康） 岡野（裕）・平石	2	講義	2		
		漢文学概論Ⅰ《春秋戦国～漢代》	松下	3	講義	2		
		漢文学概論Ⅱ《六朝～明清》	松下	4	講義	2		
		古典文学講義ⅠA	大島	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠB	吉井	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠC	木村	4	講義		2	
		古典文学講義ⅠD	田中（康）	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠA	平石	4	講義		2	
		近代文学講義ⅠB	岡野（裕）	4	講義		2	
		古典文学講読ⅠA	大島	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠB	吉井	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠC	木村	2	演習		2	
		古典文学講読ⅠD	田中（康）	2	演習		2	
		近代文学講読ⅠA	平石	2	演習		2	
		近代文学講読ⅠB		2	演習		2	不開講
		漢文学講読Ⅰ	松下	2	演習		2	
		漢文学講読Ⅱ	松下	3	演習		2	
	国文法概説Ⅰ	大島	3	講義		2		
国文法概説Ⅱ	大島	4	講義		2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	書道科教育法Ⅰ	上小倉	5	講義	2		隔週 2コマ	
	書道科教育法Ⅱ	上小倉	6	講義	2		隔週 2コマ	
合計	各科目の単位を満たし 合計24単位以上	合計			34単位以上			



社会（中学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	国史概説A《古代》	遠藤（慶）	4	講義	2		
		国史概説B《中世》	岡野（友）	3	講義	2		
		国史概説C《近世》	松浦	2	講義	2		
		国史概説D《近現代》	谷口	1	講義	2		
		東洋史概説Ⅰ	堀内	3	講義	2		
		東洋史概説Ⅱ	堀内	4	講義		2	
		西洋史概説Ⅰ	坂井	3	講義	2		
		西洋史概説Ⅱ	坂井	4	講義		2	
		史学概論	谷口	4	講義		2	
		古文書学Ⅰ	岡野（友）	3	講義		2	
		古文書学Ⅱ	岡野（友）	4	講義		2	
		史料講読AⅠ《古代》	佐野	3	演習		2	
		史料講読AⅡ《古代》	佐野	4	演習		2	
		史料講読BⅠ《中世》	多田	3	演習		2	
		史料講読BⅡ《中世》	小林	4	演習		2	
		史料講読CⅠ《近世》	谷戸	3	演習		2	
		史料講読CⅡ《近世》	谷戸	4	演習		2	
		史料講読DⅠ《近代》	長谷川	3	演習		2	
		史料講読DⅡ《近代》	谷口	4	演習		2	
		史料講読EⅠ《東洋史》	堀内	3	演習		2	
		史料講読EⅡ《東洋史》	堀内	4	演習		2	
		日本史学史	遠藤（慶）	2	講義		2	
		考古学Ⅰ	川崎	3	講義		2	
		考古学Ⅱ	竹田（憲）	4	講義		2	
	美術史Ⅰ	岡野（智）	3	講義		2		
	美術史Ⅱ	岡野（智）	4	講義		2		
	東洋思想史	永瀬	5	講義		2		
	西洋思想史	加藤（皓）	6	講義		2		
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学Ⅰ	外山	3	講義	2		
		人文地理学Ⅱ	外山	4	講義		2	
		自然地理学	外山	1・2	講義	2		
		歴史地理学Ⅰ	外山	5	講義		2	
		歴史地理学Ⅱ	外山	6	講義		2	
		地誌学	外山	4	講義	2		
	「法学、政治学」	法学概論	村上	4	講義		2	法学概論又は政治学概論の何れか選択必修
		法制史特講	谷口	8	講義		2	
		政治学概論	佐々木	5	講義		2	
		政治学特講	谷口	7	講義		2	
	「社会学、経済学」	社会学概論	笠原	3	講義		2	社会学概論又は経済学概論の何れか選択必修 集中
		社会学特講	関根	3	講義		2	
		経済学概論	深井	4	講義		2	
		社会経済史	塩谷	7	講義		2	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	齊藤（正）	7	講義		2	哲学概論又は宗教学概論Ⅰ・Ⅱの何れか選択必修 集中 集中	
	日本思想史	松浦	3	講義		2		
	宗教学概論Ⅰ	板井・中山（郁）	3	講義		2		
	宗教学概論Ⅱ	板井・中山（郁）	4	講義		2		
	日本宗教史	多田	4	講義		2		
	世界宗教史Ⅰ	宮坂	5	講義		2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	服部	5	講義	2			
	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	服部	6	講義	2			
	社会科・公民科教育法Ⅰ	服部	5	講義	2			
	社会科・公民科教育法Ⅱ	服部	6	講義	2			
合計	各科目の単位を満たし合計28単位以上	合計			32単位以上			

カリキュラム

（教免取得要件 社会 中一種 H31～R4）



## 地理歴史（高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めること が必要な事項					必修	選択	
教科 科 及 び 教 科 に 関 す る 指 導 法 に 関 す る 科 目	日 本 史	国史概説A《古代》	遠藤（慶）	4	講義	2		
		国史概説B《中世》	岡野（友）	3	講義	2		
		国史概説C《近世》	松浦	2	講義	2		
		国史概説D《近現代》	谷口	1	講義	2		
		史料講読AⅠ《古代》	佐野	3	演習		2	
		史料講読AⅡ《古代》	佐野	4	演習		2	
		史料講読BⅠ《中世》	多田	3	演習		2	
		史料講読BⅡ《中世》	小林	4	演習		2	
		史料講読CⅠ《近世》	谷戸	3	演習		2	
		史料講読CⅡ《近世》	谷戸	4	演習		2	
		史料講読DⅠ《近代》	長谷川	3	演習		2	
		史料講読DⅡ《近代》	谷口	4	演習		2	
		古文書学Ⅰ	岡野（友）	3	講義		2	
		古文書学Ⅱ	岡野（友）	4	講義		2	
		日本史学史	遠藤（慶）	2	講義		2	
		考古学Ⅰ	川崎	3	講義		2	
		考古学Ⅱ	竹田（憲）	4	講義		2	
	美術史Ⅰ	岡野（智）	3	講義		2		
	美術史Ⅱ	岡野（智）	4	講義		2		
	外 国 史	東洋史概説Ⅰ	堀内	3	講義	2		
		東洋史概説Ⅱ	堀内	4	講義		2	
		西洋史概説Ⅰ	坂井	3	講義	2		
		西洋史概説Ⅱ	坂井	4	講義		2	
		東洋思想史	永瀬	5	講義		2	
		西洋思想史	加藤（皓）	6	講義		2	
		史学概論	谷口	4	講義		2	
		外国史特講《東洋史》	堀内	6	講義		2	
史料講読EⅠ《東洋史》		堀内	3	演習		2		
史料講読EⅡ《東洋史》		堀内	4	演習		2		
人 文 地 理 学 ・ 自 然 地 理 学	人文地理学Ⅰ	外山	3	講義	2			
	人文地理学Ⅱ	外山	4	講義		2		
	自然地理学	外山	1・2	講義	2			
	歴史地理学Ⅰ	外山	5	講義		2		
	歴史地理学Ⅱ	外山	6	講義		2		
地 誌	地誌学	外山	4	講義	2			
各教科の指導法（情報通 信技術の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	服部	5	講義	2			
	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	服部	6	講義	2			
合 計	各科目の単位を満たし 合計24単位以上	合 計			34単位以上			

## 公民（高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む）」	法律学概論	村上	4	講義	2		
		法制史特講	谷口	8	講義		2	
		政治学概論	佐々木	5	講義	2		
		政治学特講	谷口	7	講義		2	
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概論	笠原	3	講義	2		現日は2セメ
		社会学特講	関根	3	講義		2	
		経済学概論	深井	4	講義	2		集中
		社会経済史	塩谷	7	講義		2	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	齊藤（正）	7	講義	2		集中 集中
		日本思想史	松浦	3	講義		2	
		宗教学概論Ⅰ	板井・中山(郁)	3	講義	2		
		宗教学概論Ⅱ	板井・中山(郁)	4	講義	2		
		日本宗教史	多田	4	講義		2	
		世界宗教史Ⅰ	宮坂	5	講義		2	
世界宗教史Ⅱ	宮坂	6	講義		2			
心理学概論Ⅰ	芳賀	1	講義	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・公民科教育法Ⅰ	服部	5			2		
	社会科・公民科教育法Ⅱ	服部	6			2		
合計	各科目の単位を満たし合計24単位以上	合計			34単位以上			

※現代日本社会学科の学生は「社会学特講」以外を履修することが望ましい。

## 英語（中学校一種・高等学校一種）

施行規則に定める科目区分等		各科目に含めること が必要な事項	本学開設授業科目	担 当 者	セメスター	種別	単位数		備 考
科目区分	必修						選択		
教 科 及 び 関 係 す る 指 導 法 に 関 す る 科 目	教 科	英 語 学	英 語 学 概 論 I	玉 田	1	講義	2		
			英 語 学 概 論 II	玉 田	2	講義		2	
			英 語 音 声 学 I	C.メイヨー	3	演習	2		
			英 語 音 声 学 II	C.メイヨー	4	演習		2	
			英 文 法 I	玉 田	1	講義	2		
			英 文 法 II	玉 田	2	講義		2	
	英 語 文 学	英 文 学 概 論 I	折 原	3	講義	2			
		英 文 学 概 論 II	折 原	4	講義	2			
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	プ ラ ク テ ィ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ I	ウ ッ ズ	3	演習	2			
		プ ラ ク テ ィ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ II	ウ ッ ズ	4	演習	2			
		リーディング・ ライティングスキル I	玉 田 玉 児 メイヨー(幸)	3	演習		2		
		リーディング・ ライティングスキル II	玉 田 玉 児 メイヨー(幸)	4	演習		2		
		英 会 話 中 級	ウ ッ ズ	5	演習		2		
		英 会 話 上 級	ウ ッ ズ	6	演習		2		
		時 事 英 語	豊 住	7	演習		2		
		異 文 化 理 解	異文化間コミュニケーションI	荊 木	3	講義	2		
	異文化間コミュニケーションII		川 村	4	講義	2			
	海 外 事 情 I		C.メイヨー	3	講義		2		
	海 外 事 情 II		C.メイヨー	4	講義		2		
	各教科の指導法（情報通 信技術の活用を含む。）	英 語 科 教 育 法 I	豊 住	3	講義		2	※	
英 語 科 教 育 法 II		豊 住	4	講義		2	※		
英 語 科 教 育 法 III		豊 住	5	講義		2	※		
英 語 科 教 育 法 IV		豊 住	6	講義		2	※		
各科目の単位を満たし (中)28単位以上、(高)24単位以上		合 計			(中) 30単位以上 (高) 34単位以上				

※中学校のみ免許取得及び中学校・高等学校の免許取得の場合は「英語科教育法Ⅰ～Ⅳ」必修、高等学校のみ免許取得の場合は「英語科教育法Ⅰ～Ⅱ」を必修とする。

## 保健体育（中学校一種・高等学校一種）〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択		
カリキュラム (教免取得要件 保健体育 中・高一種) 教育学部	教科及び教科の指導法に関する事項	体育実技	体育実技(陸上)	叶	4	演習	2	集中	
			体育実技(器械運動・体づくり運動)	加藤(純)	3	演習	2		
			体育実技(ダンス・舞踊)	後藤	5	演習	2		
			体育実技(球技)	片山	3	演習	2		
			体育実技(水泳)	片山	3	演習	1		
			体育実技(柔道)	佐藤	3・4	演習	2		
			体育実技(スキー・スノーボード)	片山	4	演習	1		
	教科に関する専門的事項	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育原理	叶	1	講義	2	集中	
			体育史	中村(哲夫)	2	講義	2		
			体育心理学	叶	4	講義	2		
			体育経営管理学	中村(哲夫)	6	講義	2		
			体育社会学	中村(哲夫)	5	講義	2		
			運動学(運動方法学)	佐藤	6	講義	2		
		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	生理学(運動生理学を含む)	生理学	片山	2	講義	2	隔週
			衛生学・公衆衛生学	バイオメカニクス	広野	3	講義	2	
				衛生学	片山	3	講義	2	
			公衆衛生学	片山	4	講義	2		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	学校保健	学校保健	片山	5	講義	2	※	
		子どもの保健	子どもの保健	小川	5	講義	2		
		保健体育科教育法Ⅰ	保健体育科教育法Ⅰ	加藤(純)	3	講義	2		
		保健体育科教育法Ⅱ	保健体育科教育法Ⅱ	加藤(純)	4	講義	2		
	各科目の単位を満たし(中)28単位以上、(高)24単位以上	合計	保健体育科教育法Ⅲ	加藤(純)	5	講義	2	※	
			保健体育科教育法Ⅳ	加藤(純)	6	講義	2	※	
						(中) 29単位以上 (高) 34単位以上			

※中学校のみ免許取得及び中学校・高等学校の免許取得の場合は「保健体育科教育法Ⅰ～Ⅳ」必修、高等学校のみ免許取得の場合は「保健体育科教育法Ⅰ～Ⅱ」を必修とする。

## 「小学校教諭一種免許状」取得要件 教育学部

条件 教育学部生であって卒業単位を修得していること。

教育の基礎的理解に関する科目等、大学が独自に設定する科目、教科及び教科の指導法に関する科目を修得していること。

規則第66条の6に定める科目を修得していること。

### ○教育の基礎的理解に関する科目等〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	野々垣	1	講義	2		中一種免許単位充当
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教職論	野々垣	2	講義	2		中一種免許単位充当
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の社会と制度	市田	6	講義	2		中一種免許単位充当
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	渡邊(賢)	2	講義	2		中一種免許単位充当
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎	大杉	3	講義	2		中一種免許単位充当
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	井上(兼)	5・6	講義	2		中一種免許単位充当
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳の理論及び指導法	渡邊(毅)	1	講義	2		中一種免許単位充当
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	駒田萩原(浩)	7	講義	1		中一種免許単位充当
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	勢力(稔)	6	講義	1		中一種免許単位充当
	教育の方法及び技術		R4以降入学生 教育方法論(ICTの活用を含む) R3以前入学生 教育方法学	勢力(稔)	4	講義	2		中一種免許単位充当
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		-	-					「教育方法論(ICT活用を含む)」(R4以降入学生)「教育方法学」(R3以前入学生)を履修
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論及び方法	服部	6	講義	2		中一種免許単位充当
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	吉田(直)	5・6	講義	2		中一種免許単位充当
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	-	-					「生徒・進路指導の理論及び方法」を履修		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導(小学校)	教育学科専任教員	5-6	演習	1		隔週
	教職実践演習	2	教育実習(小学校)	教育学科専任教員	5-6	実習	4		
	教職実践演習		教職実践演習(初等)	渡邊(賢) 渡邊(毅)・市田井上(兼)・小川土谷・山本(智)萩原(浩)	8	演習	2		「教職実践演習(中等)」の単位充当
合計		27単位以上	合計				29単位以上		

(注) ○小学校免許を副免許とする場合、主免許の実習の2単位を流用するため「教育実習(小学校)副免許2単位」を履修することで、「教育実習(小学校)4単位」を修得できる。

### ○大学が独自に設定する科目〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単位		備考
科目区分	単位	必修					選択		
大学が独自に設定する科目	小2単位以上		介護等体験実習	多田・平石 大杉・井上(兼) 高橋(肇)・藤井(恭)	3-4	実習	1		隔週

※施行規則に定める単位数より不足している単位については「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」より流用。

○教科及び教科の指導法に関する科目〔小学校〕〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	児童国語	中 條	3	演習		2	書写を含む  10単位以上 選択必修
	社会	児童社会	萩原(浩)	4	演習		2	
	算数	児童算数	上 野	3	演習		2	
	理科	児童理科	中松・澤・奥村 上島・楠木	3・4	演習		2	
	生活	児童生活	駒田・勢力(稔) 小川・萩原(浩)	3	演習		2	
	音楽	児童音楽	高橋(摩)・井上(ヒ) 北川・中山(侑) 橋本(由)	3・4	演習		2	
	図画工作	児童造形	加藤(茂)	3・4	演習		2	
	家庭	児童家庭	駒 田	3・4	演習		2	
	体育	児童体育	加藤(純)・叶 中村(哲夫)	5・6	演習		2	
	外国語	児童英語	川 村	4	演習		2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	国語科教育法	中 條	4	講義	2		
	社会	社会科教育法	萩原(浩)	3	講義	2		
	算数	算数科教育法	上 野	4	講義	2		
	理科	理科教育法	中松・澤	3	講義	2		
	生活	生活科教育法	萩原(浩)	6	講義	2		
	音楽	音楽科教育法	高橋(摩)	3・4	講義	2		
	図画工作	図画工作科教育法	加藤(茂)	5・6	講義	2		
	家庭	家庭科教育法	駒 田	6	講義	2		
	体育	体育科教育法	加藤(純)	4	講義	2		
	外国語	英語科教育法	豊 住	5・6	講義	2		
合計	30単位以上	合 計			30単位以上			

カリキュラム

(教免取得要件

小学校一種

〈教育学部〉

H31~R4)



## 「幼稚園教諭一種免許状」取得要件

- 条 件 教育学部生であって卒業単位を修得していること。  
 教育の基礎的理解に関する科目等、領域及び保育内容の指導法に関する科目を修得していること。  
 規則第66条の6に定める科目を修得していること。

注 意 施行規則に定める「大学が独自に設定する科目」（14単位）については、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「領域及び保育内容の指導法に関する科目」より流用。

### ○教育の基礎的理解に関する科目等〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考
科目	各科目に含めること が必要な事項	単位					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教 育 学 概 論	野々垣	1	講義	2		小一種免許単位充当
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教 職 論	野々垣	2	講義	2		小一種免許単位充当
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の社会と制度	市田	6	講義	2		小一種免許単位充当
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		子どもの心理学	吉田(直)	3	講義	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育・学校心理学	渡邊(賢)	2	講義	2		小一種免許単位充当
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の基礎	大杉	3	講義	2		小一種免許単位充当
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	井上(兼)	5・6	講義	2		小一種免許単位充当
道徳、総合的な学習の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	R4以降入学生 教育方法論(ICTの活用を含む) R3以前入学生 教育方法学	勢力(稔)	4	講義	2		小一種免許単位充当
	幼児理解の理論及び方法		幼 児 理 解	吉田(直)	4	演習	1		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教 育 相 談	吉田(直)	5・6	講義	2		小一種免許単位充当
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導(幼稚園)	吉田(京)	5-6	演習	1		隔週
			教育実習(幼稚園)	吉田(京)	5-6	実習	4		
	教職実践演習	2	教職実践演習(初等)	渡邊(賢) 渡邊(毅)・市田 井上(兼)・小川 土谷・山本(智) 萩原(浩)・吉田(京)	8	演習	2		小一種免許単位充当
合計		21単位以上	合 計			26単位以上			

## ○領域及び保育内容の指導法に関する科目〔幼稚園〕〈教育学部〉

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	
領域に関する専門的事項	国語	児童国語	中 條	3	演習	2		
	算数	児童算数	上 野	3	演習	2		
	生活	児童生活	駒田・小川 萩原(浩)	3	演習	2		
	音楽	児童音楽	高橋(摩)・井上(ヒ) 北川・中山(侑) 橋本(由)	3・4	演習	2		
	図画工作	児童造形	加藤(茂)	3・4	演習	2		
	体育	児童体育	加藤(純)・叶 中村(哲夫)	5・6	演習	2		
保育内容の指導法 (の活用を含む) (情報機器及び教材)	保育内容の指導法	保育指導の方法	土 谷	5	講義	2		
	保育内容の指導法 健康	健康(指導法)	小 川	4	演習	2		
	保育内容の指導法 人間関係	人間関係(指導法)	土 谷	2	演習	2		
	保育内容の指導法 環境	環境(指導法)	吉 田(京)	4	演習	2		
	保育内容の指導法 言葉	言葉(指導法)	土 谷	3	演習	2		
	保育内容の指導法 表現	身体表現(指導法)	松 田(秀)	5	演習	2		
造形表現(指導法)		真 下	4	演習	2			
合計	16単位以上	合 計			26単位以上			

## 「教員免許状の取得要件」

○教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目〈全教員免許共通〉

〈文学部・教育学部・現代日本社会学部〉

施行規則に定める 科目区分	単位	本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
						必修	選択	
日本国憲法	2単位以上	法学(日本国憲法)	富 永	3	講義	2		
体 育	2単位以上	ス ポ ー ツ I	叶・中村(哲夫) 佐藤・松葉	1	実技		1	これら6科目より2科目選択必修
		ス ポ ー ツ II	叶・中村(哲夫) 佐藤・松葉	2	実技		1	
		アダプテッドスポーツI	叶	1	実技		1	
		アダプテッドスポーツII	叶	2	実技		1	
		武 道 I 《柔道・剣道》	加藤(純)・佐藤 松田(悠)	1	実技		1	
		武 道 II 《柔道・剣道》	加藤(純)・佐藤 松田(悠)	2	実技		1	
外国語 コミュニケーション	2単位以上	英語表現I《初級》	川村・玉田 伊藤(ひ)・小野 折原・倉田 児玉・近藤 竹 内	1	演習		1	これら6科目より2科目選択必修
		英語表現II《初級》	川村・玉田 伊藤(ひ)・小野 折原・倉田 児玉・近藤 竹 内	2	演習		1	
		英語表現III《中級》	平 井 メイヨー(幸)	1	演習		1	
		英語表現IV《中級》	平 井 メイヨー(幸)	2	演習		1	
		英語表現V《上級》	C.メイヨー 近 藤	1	演習		1	
		英語表現VI《上級》	C.メイヨー 近 藤	2	演習		1	
数理、データ活用 及び人工知能に関する 科目又は情報機器の 操作	2単位以上	情報処理I(基礎)	張 王 ・ 石 田 王 ・ 内 藤	1	演習	1		
		情報処理II(応用)	張 王 ・ 石 田 王 ・ 内 藤	2	演習	1		
合 計	8単位以上	合 計				8単位以上		

## 「特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）」取得要件

- 条件 ア. 教育学部教育学科特別支援教育コース生であって卒業単位及び小学校または中・高保健体育の基礎免許状を修得していること。  
 イ. 特別支援教育に関する科目の単位を修得していること。  
 ウ. 小学校実習または中・高（保健体育）実習を履修済であること。  
 エ. 規則第66条の6に定める科目を修得していること。

### ○特別支援教育に関する科目〔特別支援学校〕〈教育学部〉

免許法施行規則に規定する科目名	単位	本学開設授業科目	中心となる領域	含む領域	担当者	セメスター	種別	単位		備考
								必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論			大 杉	3	講義	2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理・生理・病理	知的障害者		大 杉	4	講義	2		
		肢体不自由児の心理・生理・病理	肢体不自由者	知的障害者 病弱者	菊 池	4	講義	2		
		病弱児の心理・生理・病理	病弱者	知的障害者 肢体不自由者	菊 池	5	講義	2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	特別支援教育課程論	知的障害者	肢体不自由者 病弱者	山本(智)	4	講義	2		
		障害児療育論	肢体不自由者	知的障害者 病弱者	山本(智)	3	講義	2		
		病弱児教育方法	病弱者	肢体不自由者 視覚障害者 聴覚障害者	山本(智)	5	講義	2		
		障害児心理学	知的障害者	肢体不自由者	大 杉	4	講義	2		
		知的障害教育Ⅰ	知的障害者	肢体不自由者 病弱者	大 杉	3	講義	2		
知的障害教育Ⅱ	知的障害者	肢体不自由者 病弱者		5	講義		2	不開講		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	障害児指導法Ⅱ（心理等）	視覚障害者		山本(智)	6	講義	1		
		障害児指導法Ⅲ（心理等）	聴覚障害者		西村(淳)	6	講義	1		隔週
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	障害児指導法Ⅱ（教育課程等）	視覚障害者		山本(智)	6	講義	1		
		障害児指導法Ⅲ（教育課程等）	聴覚障害者		西村(淳)	6	講義	1		隔週
		特別支援教育授業論	重複・LD等領域		秋 元	5	講義	2		
障害児指導法Ⅰ	重複・LD等領域		秋 元	5	講義	2		言語・情緒・LD・ADHD		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習事前事後指導			山本(智)	7-8	演習	1		隔週
		特別支援教育実習			山本(智)	7-8	実習	2		
合計	26単位以上	合計					28単位以上			

## 小学校教諭一種・二種免許状について (文学部 国文・国史・コミュニケーション学科生対象)

<b>対象学生</b>	文学部国文・国史・コミュニケーション学科学生
<b>免許状の種類 条 件</b>	小学校教諭一種、小学校教諭二種 小学校教諭一種または二種免許状を取得するためには、中学校教諭一種免許状の取得が条件となります。
<b>教育実習</b>	中学校での3週間の実習及び実習指導（5単位）が、小学校の必要単位数5単位中の3単位まで充当できます。したがって不足する単位については小学校で2週間の教育実習（2単位）及び事前事後指導（1単位）をもって充てます。
<b>実習年次・ 期間・時期</b>	実施時期は4年次の9月となります。 また、事前事後指導は教育学部の小学校教諭一種履修者と同時に行います。
<b>成績評価</b>	成績評価は、実施年度の年度末に、実習校の評価と、実習日誌等実習中の資料、事前・事後指導の出席をあわせて総合評価します。 ただし、履修登録がされていない場合は、実習を行っても成績の評価は出ませんので必ず登録してください。
<b>履修資格</b>	1年次（10月）に実施される「小学校免許取得希望者説明会」へ必ず出席してください。 履修資格は、3年次終了までに次の科目が修得済であり。それぞれの履修状況をもとに教職課程・保育士資格部会で認めた者としてします。 なお、事前事後指導について、正当な理由（試験規程第10条P.231）なしに無断欠席した者については、教育実習を放棄したものとみなします。 ※実習の手続き及び実習費については、別途教職支援担当より連絡します。期限内に手続き及び実習費の納入がない場合は、教育実習を放棄したものとみなします。
<b>免許状の申請</b>	4年間で必要単位が修得できた場合、中学校教諭一種免許状と同時に申請します。
<b>免許状の交付</b>	※一種免許状の「免許状の申請」の欄を参照してください。 学位記授与式当日の交付となります。
<b>科目・単位</b>	中学校教諭一種免許状を取得するのに必要な科目の単位が、小学校教諭一種、小学校教諭二種免許状で必要な科目の単位の一部に充てることができます。詳しくは、次ページからのカリキュラム表を参照してください。
<b>そ の 他</b>	時間割の都合上、4年間で必要単位が修得できない場合があります。その場合は卒業後科目等履修生で不足単位を修得して、教育委員会に個人申請すれば小学校教諭一種または二種免許状が交付されます。

## 「小学校教諭一種及び二種免許状」取得要件 文学部

条件 文学部生であって卒業単位を修得していること。  
 教育の基礎的理解に関する科目等、大学が独自に設定する科目、教科及び教科の指導法に関する科目を修得していること。  
 規則第66条の6に定める科目を修得していること。

### ○教育の基礎的理解に関する科目等〈文学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単 位 ( )は二種免					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10 (6)	教 育 学 概 論	服 部	1	講義	2		中一種免許単位充当	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教 職 論	服 部	3	講義	2		中一種免許単位充当	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教 育 の 社 会 と 制 度	市 田	6	講義	2		中一種免許単位充当	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教 育 ・ 学 校 心 理 学	渡邊(賢)・芳賀	3	講義	2		中一種免許単位充当	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特 別 支 援 教 育 の 基 礎	大 杉	3	講義	2			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教 育 課 程 論	井 上 (兼)	5・6	講義	2			
生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10 (6)	道徳の理論及び指導法	渡 邊 (毅)	1	講義	2		中一種免許単位充当	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	駒田・萩原(浩)	7	講義	1			
	特別活動の指導法		特 別 活 動 の 指 導 法	勢 力 (稔)	6	講義	1			
	教育の方法及び技術		R4以降入学生 教育方法論(ICTの活用を含む) R3以前入学生	教 育 方 法 学	勢 力 (稔)	4	講義	2		「教育方法論(ICT活用を含む)」(R4以降入学生)「教育方法学」(R3以前入学生)を履修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		-	-	-	-	-	-	-	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論及び方法	渡邊(賢)・服部	6	講義	2			中一種免許単位充当
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教 育 相 談	吉 田 (直)	6	講義	2			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	-	-	-	-	-	-	-	「生徒・進路指導の理論及び方法」を科目流用		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導(小学校)	教育学科専任教員	5-6	演習	1		*	
			教 育 実 習 (小 学 校)	教育学科専任教員	5-6	実習	4			
	教職実践演習	2	教 職 実 践 演 習 (初 等)	渡邊(賢)・渡邊(毅) 市田・井上(兼) 小川・土谷・山本(智) 萩原(浩)・吉田(京)	8	演習	2		「教職実践演習(中等)」の単位充当	
合 計	27単位以上 (19単位以上)	合 計				29単位以上				

(注)「教育実習事前事後指導(小学校)」及び「教育実習(小学校)」について、小学校教諭一種免許取得予定者は、7-8セメスターにて履修すること。

※教育実習必要5単位の内訳

小一・二種免:「教育実習事前事後指導(小学校) 1単位」+「教育実習(小学校) 4単位(うち中一種免許取得単位流用2単位)」

よって、「教育実習(小学校)副免許 2単位」を履修することで、「教育実習(小学校) 4単位」を修得できる。

### ○大学が独自に設定する科目〈文学部〉

施行規則に定める科目区分等			本学開設授業科目	担当者 (敬称略)	セメスター	種別	単 位		備 考
科目区分	単 位	必修					選択		
大学が独自に設定する科目	小2単位以上		介 護 等 体 験 実 習	多 田 ・ 平 石 大 杉 ・ 井 上 (兼) 高 橋 (摩) ・ 藤 井 (京)	5-6	実習	1		隔週

※施行規則に定める単位数より不足している単位については「教育の基礎的理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」より流用。



## ○教科及び教科の指導法に関する科目〔小学校一種〕〈文学部〉

施行規則に定める科目区分等		本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択		
教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	児童国語	中 條	3	演習		2	書写を含む。  10単位以上 選択必修
		社会	児童社会	萩原(浩)	4	演習		2	
		算数	児童算数	上 野	3	演習		2	
		理科	児童理科	中松・澤・奥村 上島・楠木	3・4	演習		2	
		生活	児童生活	駒田・勢力(稔) 小川・萩原(浩)	3	演習		2	
		音楽	児童音楽	高橋(摩)・井上(ヒ) 北川・中山(侑) 橋本(由)	3・4	演習		2	
		図画工作	児童造形	加藤(茂)	3・4	演習		2	
		家庭	児童家庭	駒 田	3・4	演習		2	
		体育	児童体育	加藤(純)・叶 中村(哲夫)	5・6	演習		2	
		外国語	児童英語	川 村	4	演習		2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	国語科教育法	中 條	4	講義	2			
	社会	社会科教育法	萩原(浩)	3	講義	2			
	算数	算数科教育法	上 野	4	講義	2			
	理科	理科教育法	中松・澤	3	講義	2			
	生活	生活科教育法	萩原(浩)	6	講義	2			
	音楽	音楽科教育法	高橋(摩)	3・4	講義	2			
	図画工作	図画工作科教育法	加藤(茂)	5・6	講義	2			
	家庭	家庭科教育法	駒 田	6	講義	2			
	体育	体育科教育法	加藤(純)	4	講義	2			
	外国語	英語科教育法	豊 住	5・6	講義	2			
合計	30単位以上	合 計			30単位以上				

## ○教科及び教科の指導法に関する科目〔小学校二種〕〈文学部〉

施行規則に定める科目区分等		各科目に含めることが必要な事項	本学開設授業科目	担当者	セメスター	種別	単位数		備考
科目区分	必修						選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	児童国語	中 條	3	演習		2	書写を含む。  4単位以上 選択必修
		社会	児童社会	萩原(浩)	4	演習		2	
		算数	児童算数	上 野	3	演習		2	
		理科	児童理科	中松・澤・奥村 上島・楠木	3・4	演習		2	
		生活	児童生活	駒田・勢力(稔) 小川・萩原(浩)	3	演習		2	
		音楽	児童音楽	高橋(摩)・井上(七) 北川・中山(脩) 橋本(由)	3・4	演習		2	
		図画工作	児童造形	加藤(茂)	3・4	演習		2	
		家庭	児童家庭	駒 田	3・4	演習		2	
		体育	児童体育	加藤(純)・叶 中村(哲夫)	5・6	演習		2	
		外国語	児童英語	川 村	4	演習		2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	国語科教育法	中 條	4	講義		2	国語科教育法・ 社会科教育法・ 生活科教育法・ 英語科教育法から 4単位、算数科 教育法・理科 教育法・家庭科 教育法から4単 位、音楽科教育 法・図画工作科 教育法・体育科 教育法から4単 位、計12単位以 上修得のこと。	
	社会	社会科教育法	萩原(浩)	3	講義		2		
	算数	算数科教育法	上 野	4	講義		2		
	理科	理科教育法	中松・澤	3	講義		2		
	生活	生活科教育法	萩原(浩)	6	講義		2		
	音楽	音楽科教育法	高橋(摩)	3・4	講義		2		
	図画工作	図画工作科教育法	加藤(茂)	5・6	講義		2		
	家庭	家庭科教育法	駒 田	6	講義		2		
	体育	体育科教育法	加藤(純)	4	講義		2		
	外国語	英語科教育法	豊 住	5・6	講義		2		
合計	16単位以上	合 計			16単位以上				

# 学位ならびに免許・資格

学位の授与  
について  
博士の学位

学位の授与については、P.285の「皇學館大学学位規程」を参照してください。

- 甲 博士後期課程を修了した者に、皇學館大学博士（文学）の学位を授与します。
- 乙 学位論文を提出して、大学院の行う論文審査に合格し、かつ、博士後期課程を修了した者と同等以上の学力があると確認された者に、皇學館大学博士（文学）の学位を授与します。

修士の学位

文学研究科博士前期課程を修了した者に、皇學館大学修士（文学）の学位を、教育学研究科修士課程を修了した者に皇學館大学修士（教育学）を授与します。

免許・資格

## ○教員免許状

所定の単位を取得すれば、各専攻に応じて次表に掲げる教員専修免許状が授与されます。免許教科については取得している一種免許の教科に限ります。所定の単位については、P.285の各研究科の教職課程に関する履修内規を参照してください。

〈文学研究科〉

専攻	専修免許状の種類	免許教科
神道学専攻	中学校教諭	宗教
	高等学校教諭	宗教
国文学専攻	中学校教諭	国語
	高等学校教諭	国語
国史学専攻	中学校教諭	社会
	高等学校教諭	地理歴史

〈教育学研究科〉

専攻	専修免許状の種類	免許教科
教育学専攻	幼稚園教諭	
	小学校教諭	
	中学校教諭	保健体育
	高等学校教諭	保健体育

教育職員免許法 別表第1（第5条関係）より

第一欄 所要資格		第二欄 基礎資格	第三欄 大学において修得することを必要とする最低単位数 平成31～令和5年度 教科及び教職に関する科目
免許状の種類	専修免許状	修士の学位を有すること。	75
	一種免許状	学士の学位を有すること。	51
幼稚園教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83
	一種免許状	学士の学位を有すること。	59
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83
	一種免許状	学士の学位を有すること。	59
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83
	一種免許状	学士の学位を有すること。	59
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83
	一種免許状	学士の学位を有すること。	59

備考（抜粋）

二 第2欄の「修士の学位を有すること」には、大学の専攻科又は文部科学大臣の指定するこれに相当する課程に1年以上在学し、30単位数以上修得した場合を含むものとする。

七 専修免許状に係る第3欄に定める科目の単位数のうち、その単位数からそれぞれの一種免許状に係る同欄に定める科目の各単位数をそれぞれ差し引いた単位数については、大学院の課程又は大学の専攻科の課程において修得するものとする。